

# GOOD DESIGN AWARD 2022

2022年度

グッドデザイン賞 応募のご案内

CALL FOR ENTRY

2022.4.1 FRI-5.25 WED 13:00 JST





## 目 次

主催者挨拶	02
審査委員長メッセージ	03
年間スケジュール	04
応募から受賞までのながれ	05
グッドデザイン・ベスト100に選出された場合	09
費用	10
審査の要点	11
参考 応募カテゴリーについて	12
参考 記入項目一覧	17
参考 エントリーサイト登録ガイド	21
参考 連名応募の登録手順	26
参考 応募確認書サンプル	27

### [2022年度グッドデザイン賞 開催要綱及び各種要領]

開催要綱	30
応募要領	32
審査要領	35
Gマーク使用要領	37

このご案内に記載している事項は、グッドデザイン賞ウェブサイトに掲載している、  
2022年度グッドデザイン賞の開催要綱及び各種要領と同一の内容です。

グッドデザイン賞ウェブサイト [www.g-mark.org](http://www.g-mark.org)

## 主催者挨拶

2022年度グッドデザイン賞の募集開始にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今、世界はあたかもパンドラの箱が開けられたような状態です。一昨年からの新型コロナウイルス感染症は長いトンネルの中にいるような様相を呈し、最近になって国際紛争も勃発して暗い影を落としています。厳しい状況のなかで、働き方、教育、人と人のコミュニケーション、公と民の関係性などあらゆる面で社会や人々に大きなストレスがかかり続けています。

こうした中で、デザインにできることは何でしょうか。デザインは常に人間に問いかけ、目的を見出し、達成する活動です。身近なものから長期の地球規模のものまで、多くの課題を抱える今だからこそ、デザインへの期待が高まっているのではないのでしょうか。蓋の空いたパンドラの箱から様々なものが飛び去った後、私たちに残るのは希望です。そしてデザインは私たちの希望となれるように思います。

グッドデザイン賞の使命は、生活、経済活動、そして社会を良い方向に導いていくデザインを発見し、それを社会と共有することです。そして、デザインの役割についての人々の理解を深め、デザインに携わる様々な立場の人と事業を支援し、デザインを通じて社会を発展させることです。2021年度は史上最多の1,608件ものデザインがグッドデザイン賞に輝き、私たちからの希望が託されました。

グッドデザイン賞が対象とするデザインは形のある「モノ」に限られません。人々の行為や社会・ビジネスの仕組みなどの「コト」のデザインもあります。また、近年は国内外を問わず、中小企業や様々な社会貢献や地域づくり活動をする団体などからの応募も増えています。

応募されたデザインは、審査委員が半年近くかけて、様々な角度から審査を行います。多様な視点と知見を備えた審査委員たちがデザインの可能性を読み解き、良さを発見していく審査プロセスは、皆様にとって貴重な体験となるかもしれません。

多くの積極的なチャレンジをいただくことを願っております。皆様の応募を心よりお待ちしております。

公益財団法人日本デザイン振興会  
理事長 深野 弘行

## 交意と交響

誰もが様々な不安を感じている中で、人々の希求に耳を澄まして、それに応えようと動く人たちがいます。そのような人たちどうしが積極的に呼応し、交わり動く中から生み出されるデザインは、何かをより良くしたい、人の気持ちに応えたいという、創造する意志に支えられています。この創意こそがデザインの原動力であり、社会の様々な場面でデザインの力が発揮されることが強く求められるようになってきています。

私たちが抱えている課題は、これまで以上に多様化、複雑化しています。これらの課題を解決して心地よい社会にしていけるよう、分野や領域を超えて「意の力」を交えて行かなければならないでしょう。

デザインは私たちの身の回りのあらゆるところに存在しています。それらはお互いに関係し合い、影響し合ってこの社会をかたち作っています。ひとつひとつのデザインが持っている力と、それぞれのデザインを担った人々の意志とを交わらせて、さらに響き渡らせていくことが大切なのではないのでしょうか。

そうしてもたらされる動的な状態は、一致や均衡が取れた状態ではないかもしれないし、時には不協和音が生じることがあるかもしれません。しかし望ましい調和を目指して、交響しながら構築されていくプロセスにこそ意義があると思います。私たちにとって望ましい交響の状態を見すえながら、新しいデザインの取り組みがさらに生まれてきているのです。

グッドデザイン賞は、あらゆるデザインの営みが一堂に会する場です。社会に存在する無数のデザインを意識し、それらの関係性がもたらす成果や可能性を読み解き、示すことがグッドデザイン賞の大きな役割であると考えています。

2022年度のグッドデザイン賞で、新しいデザインに出会えること、新しい響き合いがもたらされることを楽しみにしています。

2022年度グッドデザイン賞 審査委員長 安次富 隆

## 交意と交響

2021年度はグッドデザイン賞を通じてたくさんの「交動と希求」に出会うことができました。デザインの力を今まで以上に多くの人が希求し、交動したことで、生活を、社会を、価値観を変えるデザインが数多く生み出され、それらが今後社会に引き続き、深く、広く、実装されていくことを強く期待させるように思いました。「交わる」という姿勢が、さらに多くの分野に広がり、様々なところで人々が自分たちと違った価値観や技術との交わりを模索しているうねりも感じることができました。

モノやコトを創り、社会に発し続けている私たちデザインに携わる者にとって、無力感や悔しい思いをする出来事が現在進行系で次々に起きています。生活様式の変化や価値の多様化をはじめ、情報の取捨選択の必要性、デジタル化の力、データを収集・分析することの重要性、ものごとのプロセスの透明化など、社会とデザインが向き合うように求められていることの領域が広がり、それが高速で変化するいま、社会を支えるシステムや産業はそのスピードについていけているでしょうか？これまで使い続けてきたブラックボックス化された技術やプロセスが、いまあるべき社会の進化を遅くしてはいないでしょうか？

デザインという同じレンズで社会を様々な方向から見るができる私たちが、形態や質量、素材や単位、コードやプログラムなどの違いを超えて、お互いの創造する「意」を交わすことによって、今まで諦めていた仕組みや製品や活動ができる可能性がまだまだあると思います。企業や団体だけでなく、何かを創る個人の「意」が交わり響き合うことで、様々なことがデザインの力を得て、さらに進化できると信じています。

グッドデザインは広がり続けています。私たち審査委員もそこに集うデザインの数々に共通点や繋ぐべきアイデアを見つけ、それらをフォーカス・イシューをはじめとする取り組みを通じて発信できるように議論を重ねていきます。様々なデザインをマクロに見通せる機会でもあるグッドデザイン賞を通して、日本だけではなく世界全体の社会や生活がより良くなるヒントを見つけて発信していきます。

今年も、交わりに溢れたこれからの羅針盤になるようなデザインに出会えることを楽しみにしています。

2022年度グッドデザイン賞 審査副委員長 齋藤 精一

# 年間スケジュール

※JST=日本時間

応募	4月1日(金)	応募受付開始
	5月25日(水) 13:00 JST	応募受付締切・応募確認書のアップロード締切
一次審査	6月3日(金)～6月26日(日)	一次審査期間
	6月27日(月)	一次審査結果通知
二次審査	6月27日(月)～7月4日(月) 13:00 JST	二次審査展示情報の登録
	7月5日(火)～8月18日(木)	二次審査期間
	8月1日(月)	二次審査 搬入日 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
	8月2日(火)～4日(木)	二次審査会
	8月5日(金)	二次審査 搬出日
	8月19日(金)	二次審査結果通知
	8月19日(金)～26日(金) 13:00 JST	公開情報(受賞発表・表彰状・受賞年鑑)の登録
	9月12日(月)	応募同意書の提出締切 ※該当者のみ
	9月16日(金)	グッドデザイン・ベスト100プレゼンテーション審査、特別賞審査会
受賞発表	10月7日(金)	受賞発表(グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、グッドフォーカス賞、グッドデザイン金賞、グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト))
	10月7日(金)～11月6日(日)	受賞PR期間
	10月7日(金)～11月6日(日)	グッドデザイン・ベスト100展 会場：東京ミッドタウン
	11月1日(火)	受賞祝賀会、大賞選出会、大賞発表
	2023年3月	受賞年鑑発刊

# 応募から受賞までのながれ

## グッドデザイン賞 応募条件

2022年度の応募対象は、2023年3月31日までに、ユーザーが購入または利用できるものごとで、2022年10月7日の受賞発表日に公表できるものとします。

応募する場合は、応募期間に所定の手続きを行ってください。

応募条件 <https://www.g-mark.org/guide/2022/guide3.html#guide3-2>

## 応募期間

### 1) 応募のためのアカウント登録

グッドデザイン賞に応募する際は「エントリーサイト」で審査に必要な情報(テキスト・画像など)の登録が必要です。はじめて応募する場合は「新規アカウント作成」よりアカウント登録を行ってください。すでにアカウントをお持ちの場合は、下記URLよりログインしてください。応募の流れ・手続きについては「応募の手順」を参照してください。応募のための情報登録・応募確認書のアップロード・審査結果等の通知はすべてエントリーサイトを通して行います。

エントリーサイト <https://www.g-mark.org/guide/2022/entry.html> (新規アカウント作成またはログイン)

応募の手順 <https://www.g-mark.org/guide/2022/guide3.html#guide3>

2022年度の応募受付期間は4月1日(金)～5月25日(水)13:00までです。この日時までに、エントリーサイトにて応募情報の登録・応募確認書のアップロード(提出)を完了してください。

### 2) エントリーサイト上での応募手続き

アカウント登録後、エントリーサイトにログインして、以下の登録を行ってください。

- ・エントリーサイト登録ガイド → P21

#### 2-1. 応募者情報の登録

エントリーサイトの「応募者一覧」メニューをクリックし、グッドデザイン賞の「応募者」を登録してください。「応募者」は、審査を通過した際はそのまま「受賞者」となります。受賞者はウェブサイト・表彰状等に掲載され、Gマーク使用の申込みが可能になります。

受賞発表日以降はいかなる理由があっても、受賞者の追加や変更はできません。**応募受付締切日時 5月25日(水)13:00までに、必ず過不足のないように応募者登録を行い、応募確認書を提出**してください。

※事業主体者およびデザイン事業者が複数関与する場合は、連名で応募ができます。例えば3社連名で応募する場合は、3社分それぞれの応募者情報の登録と、応募確認書の提出が必要です。

#### 2-2. 応募対象の登録

エントリーサイトの「新規応募対象登録」から、グッドデザイン賞に応募する対象を登録します。応募対象の「応募カテゴリー」を選択し、応募対象の名称や事業主体名、2-1にて登録した「応募者」と応募対象の関連付けを行います。入力して保存すると、より詳細な情報が入力できるようになります。このほか記入する具体的な項目についてはP17以降を参照してください。

※応募対象ごとに応募者を設定することができます。1つの応募対象に複数の応募者を関連付けた場合は、連名での応募(受賞した場合は連名での受賞)となります。

※応募カテゴリーは応募対象を識別し、審査を行うために設定するものです。P12以降を確認の上、細分化されたカテゴリー内の例示を含め、完全に同一するものでなくとも一番近いと思われるものを、またどういった視点での審査を希望するかに合わせて選択してください。

※応募対象が複合的な要素を持ち、複数のカテゴリーに該当する場合でも、1つの応募対象につきいずれか1つの応募カテゴリーを選択してください。

### 2-3. 応募確認書のアップロード・応募の確定

応募対象詳細の情報登録が完了したら「応募を確定する」ボタンを押して応募の確定を行って下さい。応募受付締切日時までは、応募確定後も登録情報の編集は可能です。また、応募の取り下げや、取り下げたものを再度応募状態にすることも可能です。

応募の確定後は、応募者の実存と応募意思の確認のため、エントリーサイト「応募確認書一覧」ページの「応募確認書データをダウンロード」ボタンより、応募確認書データをダウンロード・印刷し、本書記入日等を記入して、社印(角印)を押印してください。記入・押印済みの応募確認書のスキャンまたは画像データは「記入・押印済みの応募確認書をアップロード」よりアップロードしてください。**応募確認書は全応募者のアップロードが必須**です。この作業も、応募受付締切日時5月25日(水)13:00までに完了してください。

**応募受付締切日時：5月25日(水)13:00 まで**

- ・エントリーサイトでの各種情報の登録・応募確認書のアップロードは、必ず上記の日時までに完了してください。
- ・締切日時を過ぎると、登録情報の編集・修正・新規応募・応募確認書のアップロードはできません。
- ・締切日時の延長は一切認められません。期日までに余裕をもって、入力作業等を行ってください。

### 2-4. 応募同意書の送付(該当者のみ)

応募対象の事業主体者が応募者として登録されていない場合、「応募確認書」とは別に「応募同意書」を作成し、事業主体者の捺印を得た上で送付してください。応募同意書の作成についての注意事項・提出方法は、グッドデザイン賞公式ウェブサイトの応募ガイド>各種ダウンロード>応募同意書のサンプルを参照してください。

**応募同意書の提出締切日：9月12日(月)まで(該当者のみ/メールで提出)**

### 2-5. 一次審査料の支払い

エントリーサイト「アカウント情報」内にある「審査料・受賞パッケージ料 請求先」に登録された住所・企業名・氏名宛に、株式会社ネットプロテクションズより請求書を送付します。送付方法は「紙で郵送」「PDFをメール送付」どちらかを選択することができます。請求書に記載の期日までにお支払いください。

※支払期限までに入金が確認できない場合、応募は失格とします。ただし支払い義務は残ります。

※2022年度より、グッドデザイン賞 審査料・受賞パッケージ料の請求業務を外部企業へ業務委託(請求代行)します。届いた請求書に関する問合せは、請求書内に記載の(株)ネットプロテクションズへご連絡ください。

### 応募の取り下げと費用について

応募対象について審査の継続または受賞発表が難しくなった場合は、10月6日までの期間であれば応募を取り下げることができます。応募を取り下げる場合は、エントリーサイト「お問い合わせ」フォームまたはEメール等の文書により連絡してください。取り下げに伴う審査料等費用の扱いについては、次のように定めます。

以下の期日以降に応募を取り下げた場合、応募者は所定の費用を支払います。参照：P10

一次審査料 … 6月3日以降に取り下げた場合

二次審査料 … 7月5日以降に取り下げた場合

受賞パッケージ料 … 8月27日以降に取り下げた場合

## 一次審査結果通知 ～ 二次審査へ

### 3) 一次審査結果の確認

6月27日(月)に一次審査の結果をエントリーサイト上で通知します。エントリーサイトにログインの上、一次審査の結果をご確認ください。



#### 4) 二次審査における展示情報の登録および搬入出、二次審査料の支払い

二次審査では応募対象の現物を二次審査会場に搬入し、二次審査の間、展示します。一次審査を通過後、エントリーサイトにて「二次審査展示情報」の登録を行い、指定された日時・場所に展示物を搬入出してください。

##### 4-1. 二次審査展示情報の登録

エントリーサイト「二次審査展示情報」から展示サイズ、電源の有無等を登録してください。詳細については一次審査結果通知後に配布される「二次審査の手引き」を参照してください。一次審査通過後に、二次審査を受けることを希望しない場合は、応募の取り下げ連絡を行ってください。

二次審査展示情報の登録締切日：7月4日(月) 13:00 まで

##### 4-2. 二次審査料の支払い

二次審査情報の登録締切後、二次審査料に関する請求書を指定の請求先宛てに送付しますので、請求書に記載の期日までにお支払いください。

※支払期限までに入金が確認できない場合、応募は失格とします。ただし支払い義務は残ります。

##### 4-3. 二次審査会場への応募対象現物の搬入出

二次審査会場搬入日に応募対象の現物を直接搬入し、搬出日に直接搬出してください。一次審査結果通知後に配布される「二次審査の手引き」を必読の上、審査に必要な展示物・書類等を必ず持参してください。

※「未発表審査」オプションを選択された場合は、個別にスケジュールをご案内します。

二次審査会 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) B、C、Dホール

## 二次審査結果通知 ～ 受賞まで

#### 5) 二次審査結果の確認

8月19日(金)に二次審査の結果をエントリーサイト上で通知します。エントリーサイトにログインの上、二次審査結果をご確認ください。「二次通過」となった場合、10月7日(金) 13:00の受賞発表日をもって「受賞」となり、受賞者からも受賞についての対外的な公表が可能になります。

それまでは二次審査通過の旨や受賞したという情報は、SNSを含めた全ての媒体において公表できません。

#### 6) 公開情報(受賞発表・表彰状・受賞年鑑)の登録、受賞パッケージ料の支払い

二次審査を通過した対象は、グッドデザイン賞受賞対象となります。受賞対象は、グッドデザイン賞ウェブサイト「受賞対象一覧」にて公開するとともに、表彰状の発行、受賞年鑑の発刊を行います。

受賞発表や表彰状・受賞年鑑の制作には、エントリーサイトに登録された情報を用います。8月19日(金)～8月26日(金) 13:00までに、エントリーサイトに登録してある情報を必ず確認し、修正がある場合は該当項目の編集・保存を行ってください。締切後の修正は一切できません。

※エントリーサイトの「表彰状プレビュー」や「受賞対象一覧プレビュー」等を利用し、正しい情報が登録されているかを十分に確認してください。

※連名応募の場合や応募対象が複数ある場合、受賞情報について複数の関係者のチェックが必要な場合などは、期日までに余裕をもって、しっかりと確認を行ってください。

公開情報(受賞発表・表彰状・受賞年鑑)の登録締切日：8月19日(金)～26日(金) 13:00 まで

二次審査の結果通知日以降、受賞者向けの「AWARD WINNER'S KIT」を別途送付します。内容物を確認の上、必要な手続き・準備等を行ってください。また、受賞パッケージ料の請求書を指定の請求先宛てに送付しますので、請求書に記載の期日までにお支払いください。

※支払期限までに入金が確認できない場合、受賞対象は受賞取り消しとなりますのでご注意ください。ただし、支払い義務は残ります。

## 7) 受賞発表・受賞 PR 期間

10月7日(金)にグッドデザイン賞受賞となった対象を発表します。またグッドデザイン・ベスト100、グッドフォーカス賞、グッドデザイン金賞、グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)に選ばれた対象も発表します。受賞者からもプレスリリース等の受賞についての公表が可能になります。

**受賞発表：10月7日(金) 13:00 JST 以降、受賞の公表が可能**

### 7-1. 受賞 PR 期間

10月7日(金)～11月6日(日)は受賞PR期間です。使用申請不要・使用料無料で、Gマークを使っの受賞PRが可能です。この機会にぜひGマークを使って受賞をアピールしてください。

**受賞PR期間：10月7日(金)～11月6日(日)**

※Gマークを使った受賞PR活動は、上記の期間内で使用や配布を完了することが条件となります。ただし、ウェブサイト上のプレスリリース、ニュースリリース及びSNSによる発信は、配信日の記載があれば受賞PR期間後もGマークをつけたまま掲載を可能とします。

※受賞PR期間以降もGマークをお使いになる場合は、別途使用申請が必要となります。詳細は「2022年度Gマーク使用要領(P37)」をご覧ください。

### 7-2. 受賞PRグッズ

Gマーク使用料なしで購入・活用できる受賞PRグッズを販売しています。受賞商品やパッケージ等に貼り付けできるGマークラベルシール、ディスプレイに活用できるトロフィー、表彰状の複製などがあります。お申し込みは二次審査結果通知日より、エントリーサイトにて受け付けます。ただし商品の制作開始と出荷は受賞発表日以降となります。納期の目安や、PRグッズのサイズ等については、グッドデザイン賞ウェブサイト「PRグッズ」を参照してください。

**受賞PRグッズ販売期間：二次審査結果通知日～2023年3月31日(金)**

※Gマークラベルのみ、受賞年度に関わらず、全ての受賞対象についていつでも購入が可能です。

## 8) 受賞プロモーションイベントの開催

10月7日(金)～11月6日(日)の間、「グッドデザイン・ベスト100」を中心とした展示を東京ミッドタウン・デザインハブにて開催します。また、11月1日(火)には、受賞祝賀会及び本年度のグッドデザイン大賞を決定するための大賞選出会を実施します。受賞者による投票もできますので、是非ご参加ください。

この他、オンライン・オフラインにて、多くの受賞者の方が参加できるイベントを予定しています。

## 9) 表彰状の贈呈

受賞対象1件につき1枚の表彰状を贈呈します。エントリーサイト「アカウント情報」に登録された住所・氏名宛に、10月中旬以降、順次送付します。

※贈呈は受賞対象ごとに行います。応募者ごとの贈呈ではありません。有料となりますが、表彰状はPRグッズとして複製発行が可能です。

## 10) 受賞年鑑の発刊

2022年度のすべてのグッドデザイン賞受賞デザインを網羅した公式受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2022」を発刊し、受賞対象1件につき1冊の受賞年鑑を贈呈します。エントリーサイト「アカウント情報」に登録された住所・氏名宛に、年度末(2023年3月末)順次送付します。

※贈呈は受賞対象ごとに行います。応募者ごとの贈呈ではありません。

# グッドデザイン・ベスト100に選出された場合

グッドデザイン賞では、グッドデザイン賞を受賞した対象の中から明日を拓くデザイン、未来を示唆するデザイン100件を「グッドデザイン・ベスト100」として選出します。この100件から特別賞各賞を決定するほか、本年度のデザインを象徴する100件として対外的なアピールを推進します。グッドデザイン・ベスト100に選出された場合、専用のトロフィー贈呈に加え、様々なイベントを実施します。ベスト100受賞者の皆さまのご協力をお願いいたします。なお、詳細は二次審査結果通知後に、事務局よりご連絡いたします。

## 1) グッドデザイン・ベスト100プレゼンテーション審査への参加

グッドデザイン・ベスト100に選出された受賞対象は、特別賞（グッドデザイン大賞・グッドデザイン金賞・グッドフォーカス賞各賞）の候補となり、グッドデザイン・ベスト100受賞者は特別賞審査に進みます。特別賞審査では、「グッドデザイン・ベスト100プレゼンテーション審査」にてプレゼンテーションを行っていただきます。本審査は、9月16日（金）に東京・六本木のミッドタウン・カンファレンスにて非公開にて実施します。このプレゼンテーションは、特別賞審査の一環となります。実施にあたり、プレゼンテーション登壇者名の登録、投影データの提出等の手続きが必要となります。プレゼンテーションは、動画撮影し、受賞発表後グッドデザイン賞ウェブサイトにてアーカイブとして保存・公開されます。

## 2) 展示に向けた調整

グッドデザイン・ベスト100に選出された対象は、10月7日（金）～11月6日（日）の間、東京ミッドタウン・デザインハブにて展示します。展示物の用意に関して、事務局よりご連絡しますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

## 3) グッドデザイン・ベスト100表彰状／トロフィーの贈呈

グッドデザイン・ベスト100に選出された受賞者には、受賞対象1件につきグッドデザイン・ベスト100の表彰状1枚、グッドデザイン・ベスト100のトロフィー1点を贈呈します。表彰状・トロフィーに記載するテキストは、公開情報（受賞発表・表彰状・受賞年鑑）の登録締切：8月26日（金）13:00までに、エントリーサイトに登録された情報を使用します。締切後に修正・調整はできません。

※エントリーサイト「表彰状プレビュー」を利用しながら、表彰状掲載テキストを確認してください。

※グッドデザイン・ベスト100トロフィーに印字する内容は「応募対象の一般名称（英文表記）」「応募対象の固有名称（英文表記）」「応募者（応募企業名）英文表記」です。

※表彰状やトロフィーの掲載テキストについて、連名で応募している・受賞対象が複数ある・関係者の確認が必要である場合は、公開情報登録締切期日までに余裕をもって、しっかりと確認を行ってください。

# 費用

金額はすべて税込みで、審査対象一件あたりの金額になります。

対象	必須/ オプション	項目	金額	支払期限	取り下げ期限
全ての 応募対象	必須	一次審査料	11,000 円	請求書に記載の期日	6月3日(金)
二次審査 対象	必須	二次審査料	58,300 円	請求書に記載の期日	7月5日(火)
	オプション ※オプションの 金額は一次審査 結果通知後に配 布される「二次 審査の手引き」 を参照してくだ さい。	未発表審査料	104,500 円		
		追加展示 スペース	(1 小間あたり) 17,600 円		
		展示台	(1㎡あたり) 6,600 円		
		電気工事費、 電気使用料	通電が必要な 対象のみ実費		
		その他オプション (パネルスタンド等)	別途指定します		
		A1 パネル / A3 資料 出力代行サービス ※A3横サイズ資料については、指定ユニット(ユニット13~16)の応募対象のみ申し込むことができます。	A1 縦サイズパネル 30,000 円 A3 横資料 5,000 円		
		搬入出代行サービス	サイズや申込プラン により異なる		
現地審査料	実費 (現地までの旅費)	別途指定します			
全ての 受賞対象	必須	受賞パッケージ料 受賞年鑑及びウェブサイト「受賞対象一覧」掲載、 受賞対象1件につき1枚の表彰状及び1冊の受賞 年鑑、ならびに受賞プロモーションを含みます。 88,000 円	請求書に記載の期日	8月27日(土)	

※2022年度より、グッドデザイン賞 審査料・受賞パッケージ料の請求業務を外部企業へ業務委託(請求代行)します。届いた請求書に関する問合せは、請求書内に記載の(株) ネットプロテクションズへご連絡ください。

※ 応募から受賞までにお支払いいただく費用の目安：

一次審査料 11,000 円 + 二次審査料 58,300 円 + 受賞パッケージ料 88,000 円  
= 合計 157,300 円

(小型で通電を必要としないものの審査を想定した費用の参考用概算例です。)

※ Gマークを使用する場合は、別途「Gマーク使用料」が発生します。詳細については、「Gマーク使用要領(P37)」をご覧ください。

※ 応募を取り下げる場合は「取り下げ期限」までに、エントリーサイト「お問い合わせ」フォームからの連絡またはEメール等の文書にて連絡してください。期限までに取り下げ連絡がない応募対象については、各審査料・受賞パッケージ料の支払い義務が生じますので、ご注意ください。応募の取り下げについてはP6を参照してください。

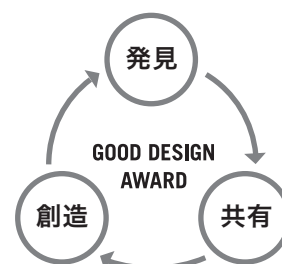
※ 各期限までに費用をお支払いいただけない場合は「応募の失格」または「受賞の取り消し」となりますので、ご注意ください。ただし、支払い義務は残ります。

# 審査の要点

## グッドデザイン賞の理念

グッドデザイン賞はデザインの優劣を競う制度ではなく、審査を通じて新たな「発見」をし、Gマークとともに社会と「共有」することで、次なる「創造」へ繋げていく仕組みです。グッドデザイン賞では常に我々が向き合うべき根源的なテーマとして5つの言葉を「グッドデザイン賞の理念」として掲げています。

人間 (HUMANITY)	もの・ことづくりを導く創発力
本質 (HONESTY)	現代社会に対する洞察力
創造 (INNOVATION)	未来を切り開く構想力
魅力 (ESTHETICS)	豊かな生活文化を想起させる想像力
倫理 (ETHICS)	社会・環境をかたちづくる思考力



## 審査の考え方

グッドデザイン賞では、かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインにとらえ、その質を評価しています。応募されたデザインの背景・プロセス、目的と達成した成果を観察し、多角的な視点に立って審査を行います。

## 審査の視点

グッドデザイン賞の審査では様々な観点による複眼的思考を基本に、以下の「審査の視点」についてその是非を問いながら、総合的なバランスにおいてグッドデザインか否かを判断します。

### 人間的視点

- 使いやすさ・分かりやすさ・親切さなど、ユーザーに対してしかるべき配慮が行われているか
- 安全・安心・環境・身体的弱者など、信頼性を確保するための様々な配慮が行われているか
- ユーザーから共感を得るデザインであるか
- 魅力を有し、ユーザーの創造性を誘発するデザインであるか

### 産業的視点

- 新技術・新素材などを利用または創意工夫によりたくみに課題を解決しているか
- 的確な技術・方法・品質で合理的に設計・計画されているか
- 新産業、新ビジネスの創出に貢献しているか

### 社会的視点

- 新しい作法、ライフスタイル、コミュニケーションなど、新たな文化の創出に貢献しているか
- 持続可能な社会の実現に対して貢献しているか
- 新たな手法、概念、様式など、社会に対して新たな価値を提案しているか

### 時間的視点

- 過去の文脈や蓄積を活かし、新たな価値を提案しているか
- 中・長期的な観点から持続可能性の高い提案が行われているか
- 時代に即した改善を継続しているか

## 参考 応募カテゴリーについて

グッドデザイン賞では、応募カテゴリーごとに専門の審査ユニットを編成し、審査を行います。応募に際しては「どの領域のデザインとして応募対象の審査を希望するのか」を鑑みて、応募者自身で応募カテゴリーを選択してください。なお、同一の対象を複数の応募カテゴリーに応募することはできません。また、審査は応募者が選択した応募カテゴリーに則して行いますが、審査委員会の判断によりカテゴリーを移動する場合があります。

※細分化されたカテゴリー内の例示を含め、完全に同一するものでなくとも、一番近いと思われるものを、またどういった視点での審査を希望するかに合わせて選択してください。

※応募対象が複合的な要素を持ち、複数のカテゴリーに該当する場合でも、1つの応募対象につきいずれか1つの応募カテゴリーを選択してください。

カテゴリー 01：身につけるもの
カテゴリー 02：パーソナルケア用品
カテゴリー 03：文具・ホビー
カテゴリー 04：生活用品
カテゴリー 05：生活家電
カテゴリー 06：調理家電
カテゴリー 07：映像／音響機器
カテゴリー 08：情報機器
カテゴリー 09：産業／医療 機器設備
カテゴリー 10：住宅設備
カテゴリー 11：家具・オフィス／公共 機器設備
カテゴリー 12：モビリティ
カテゴリー 13：建築（戸建て住宅～小規模集合・共同住宅）
カテゴリー 14：建築（中～大規模集合・共同住宅）
カテゴリー 15：建築（産業／商業施設）
カテゴリー 16：建築（公共施設）・土木・景観
カテゴリー 17：メディア・コンテンツ
カテゴリー 18：システム・サービス
カテゴリー 19：地域の取り組み・活動
カテゴリー 20：一般向けの取り組み・活動

## 別表 応募カテゴリー一覧

<b>カテゴリー 01：身につけるもの</b>	
01-01 装身具・身につけるもの	コンタクトレンズ、眼鏡、マスク、アクセサリ、腕時計、財布、名刺入れ、スマホ・タブレットケース、カメラスリング、靴・バッグ・PC用バッグ、靴・サンダル、スリッパ、義肢、かつら
01-02 業務用装身具	指サック、ネームプレート、腕章、防塵マスク、防塵ゴーグル、作業手袋、軍手、絶縁手袋、ヘルメット、ライフジャケット、安全ベスト、作業着、白衣、作業靴、安全靴、ランヤード、安全帯、イヤーマフ
01-03 衣料品	帽子、衣類、衣類小物
<b>カテゴリー 02：パーソナルケア用品</b>	
02-01 ウェルネス・マッサージ関連用品	リラクゼーション関連用品、ウォーキング用品、デイリーエクササイズ器具、EMS運動器、活動量計、万歩計、熱中症指数計、アルコールチェッカー、マッサージ用具・チェア
02-02 衛生用品	歯ブラシ、家庭用歯科衛生用品、大人用おむつ、シェーバー、爪切り、耳かき、櫛、髭剃り、カミソリ、ティッシュ、タオル、浴室用マット、洗濯用ネット、洗剤、洗浄用スポンジ、シャンプー、ボディケア用品、バス用品、簡易トイレ、湯たんぽ、体臭測定器、プレスチェッカー
02-03 美容機器、器具	メイクアップ用品、美顔ローラー、パーマロッド、美容器具、ヘアアイロン、ヘアドライヤー
02-04 育児用小物、装身具	おむつ、抱っこひも、おくるみ、ベビー服、おしゃぶり、マザーバッグ
02-05 家庭用育児用品	ベビーカー、おまる、ベビーバス、ベビーベッド、離乳食、搾乳器、哺乳瓶、ベビー用食器、子供用椅子
02-06 家庭用福祉用品・介護用品	補聴器、車椅子、歩行器、介護食、病院食、介護用ベッド、体位変換器、杖、シルバーカー、介護用ポータブルトイレ
<b>カテゴリー 03：文具・ホビー</b>	
03-01 文具・事務用品	ペン、シャープペンシル、ノート、手帳、のり、はさみ、カッター、ステープラー、粘着テープ、テープカッター、修正液・修正テープ、印鑑、朱肉、定規、電卓、封筒、付箋、本立て、ブックカバー、額縁、絵画道具（絵具、パレット、クレヨン）、カレンダー、伝票、ファイルバイндナー、クリップ、レーザーポインター、関数電卓、裁断機、製本用品、製図用品、写真用紙、ホワイトボード、ラベルプリンター
03-02 教材・教育用品	知育玩具、教材、教科書・参考書、絵本、辞書、教育用ツール、虫眼鏡、顕微鏡、フラスコ、ビーカー
03-03 玩具	おもちゃ、人形・ぬいぐるみ、積み木、ボードゲーム、ミニカー、プラモデル
03-04 スポーツ用品	バット、ボール、レガース、ゴルフクラブ、ヨガマット、フィットネス器具、トレーニング用品、審判台、ラインカー、スポーツ用アイウェア、スイミングゴーグル、スポーツシューズ、縄跳び
03-05 レジャー・アウトドア・旅行用品	レジャーシート、クーラーボックス、テント、ランタン、バーベキューコンロ、トレッキングポール、アウトドア用椅子・テーブル、方位磁石、双眼鏡、寝袋、フォールディングナイフ、アウトドア用バーナー、アウトドア用調理器具、スーツケース、旅行用品
03-06 ホビー・ペット用品	釣竿、リール、手芸用品、リード、ペット用トイレ、水槽等、キャットタワー、グルーミングブラシ、ペット見守りカメラ、個体識別バッジ
03-07 園芸用品	花器、鉢植え、プランター、じょうろ、ホースリール、散水ノズル、剪定はさみ、スコップ、家庭用植物工場
03-08 楽器	ピアノ、ギター、ギターアンプ、電子楽器
<b>カテゴリー 04：生活用品</b>	
04-01 キッチン用品、調理器具、食器・カトラリー	鍋、フライパン、キッチン用清掃道具、包丁、キッチン鉢、おたま、トンガ、ターナー、スライサー、ざる、ボウル、菜箸、箸、カトラリー、グラス、カップ、皿、お椀、小鉢、お盆、水筒、茶器、弁当箱、調味料入れ、計量スプーン
04-02 日用品	傘、うちわ、除雪具、裁縫道具、クッション・座布団、マット、絨毯、ゴミ箱、ハンガー、懐中電灯、置き時計・掛け時計、殺虫器、アロマディフューザー
04-03 清掃用品	ほうき、ちりとり、はたき、モップ、掃除用ブラシ
04-04 防災用品	防災ずきん、防災用ヘルメット、非常用持ち出し袋・防災セット、非常食、保存食、非常用トイレ、防災用ランタン
04-05 寝具	ふとん、シーツ、マットレス、枕、毛布
04-06 神仏具関係用品	仏壇、神棚、仏具、神具、盛り塩器、数珠、骨壺、墓石
<b>カテゴリー 05：生活家電</b>	
05-01 生活家電	デジタルフォトフレーム、掃除機、洗濯機、冷蔵庫、ホームクリーニング機、食器洗い機・乾燥機、浄水器、ウォーターサーバー、ミシン、アイロン、高圧洗浄機、脱臭機
05-02 空調家電・機器	空気清浄機、加湿器、扇風機、電気ストーブ、ヒーター・ファンヒーター、電気アンカ、ホットカーペット、冷風機
<b>カテゴリー 06：調理家電</b>	
06-01 調理家電	炊飯器、電子レンジ、フードプロセッサー、ホットプレート、ミキサー、ブレンダー、ジュース、電気ケトル、コーヒーマーカー、トースター、IH調理器
<b>カテゴリー 07：映像／音響機器</b>	
07-01 個人用音響機器	ヘッドホン、イヤホン、スピーカー、オーディオプレイヤー、オーディオアンプ、ステレオシステム、ホームサウンドシステム、スマートスピーカー、AIスピーカー
07-02 業務用放送・音響機器	ミキシング・コンソール、マルチトラックレコーダー、スイッチャー、業務用スピーカー、業務用マイク、業務用パワーアンプ、ワイヤレスマイクシステム、音響プロセッサー、業務用カメラ
07-03 カメラ・カメラ周辺機器	カメラ、ビデオカメラ、カメラレンズ、ストロボ、三脚、カメラ用スタビライザー、セキュリティカメラ
07-04 映像機器	テレビ、モニター、メディアプレイヤー、VRヘッドセット、プロジェクター、業務用モニター・プロジェクター

カテゴリー 08：情報機器	
08-01 スマートフォン・スマートフォン周辺機器	スマートフォン、電話機、携帯電話、通信モバイル端末、モバイルバッテリー、ジンバル
08-02 スマートウォッチ	スマートウォッチ
08-03 パソコン・パソコン周辺機器	デスクトップ・パソコン、ノート・パソコン、タブレットPC、マウス、キーボード、スタイラス、マザーボード、グラフィックスカード、OAタップ、ケーブル
08-04 一般・公共用情報機器	プリンター、スキャナー、NAS、ハードディスク、SSD、ストレージメディア、ネットワーク機器、ルーター、スイッチングハブ、翻訳機、スマートスピーカー、AIスピーカー、セキュリティ機器・カメラ
08-05 業務用情報機器	非常用放送設備、セキュリティカメラ、業務用パソコン、業務用電話機、業務用モニター・プロジェクター、トランシーバー、業務用無線通信機、業務用プリンター、プリント複合機
カテゴリー 09：産業／医療 機器設備	
09-01 工具・作業用機器	ベンチ、ニッパー、ドライバー、のこぎり、作業小物、スプレー、ペンキ、工具入れ、万力、治具、電動工具、梱包資材、段ボール箱、誘導ボタン、台車、投光器、洗浄ガン、はしご、脚立、水準器
09-02 農具・農業用機器	鍬、鎌、熊手、臼、芝刈り機、ヘッジトリマー、耕運機、糶摺機、脱穀機、精米機、計量機、畦塗機、農業用ドローン
09-03 生産・製造用機器・設備	データロガー、制御機器、デジタルマイクロメータ、電流プローブ、計測機器、測量機、表示器、FA機器、プログラムブルコントローラー、アクチュエーター、工業用ロボット、加工機、マシニングセンター、半導体製造装置、足場、ホイールローダー、印刷機、コンテナ、ベルトコンベヤ、自動搬送機、非破壊検査装置、射出成形機
09-04 医療用機器・設備	血圧計、体温計、注射器、点滴、薬剤、ステント、手術器具、担架、生体モニター、洗浄器、吸引機、治療機器、ナースコール、医療用カート、診察台、医療用什器、病院内設備、検査・診断機器（超音波診断機、MRI、CTスキャン、レントゲン機器等）、分析装置、薬剤梱包機、医療用ベッド、医療用保護メガネ、低周波治療器、家庭用医療器具・機器、家庭用医薬品、吸入器（ネブライザー）、血糖値測定器、インシュリン用注射器
09-05 素材・部材	シート素材、紙、ブロック、セラミックス素材、ガラス素材、プラスチック素材、塗料
09-06 生産・製造技術	加工方法、製造方法、工法、搬送技術
09-07 研究・実験用機器・設備	ビベーター、電子天秤、攪拌機、ホモジナイザー、ガスクロマトグラフィー、蛍光X線分析装置、生化学自動分析装置、ヒュームフード、環境試験器、耐久試験装置、加速器、電波望遠鏡
09-08 その他医療・生産プロダクト	
カテゴリー 10：住宅設備	
10-01 住宅用照明機器	電球、シーリングライト、ペンダントライト、デスクライト、フロアランプ、スタンドライト、センサーライト
10-02 住宅用空調機器・設備	エアコン、換気口
10-03 住宅用建材・建具	建築金物、建材、建具、階段、サッシ・窓、ドアハンドル
10-04 住宅用内装用品	カーテン、ブラインド、ロールスクリーン、壁紙
10-05 住宅用外装用品	屋根材、車庫、表札、ポスト、雨どい、ウッドデッキ、テラス、日よけ、シェルター、インターホン
10-06 住宅用キッチン	レンジフード・換気扇、給湯機、給湯リモコン、シンク、ビルトインコンロ
10-07 浴室・洗面・水回り	洗面台、シャワー、浴槽、便器・便座、浄水設備、水栓、ユニットバス
10-08 住宅用機器・設備	家庭用エレベーター、家庭用エスカレーター、デジタルロック、スマートロック、宅配ロッカー・ボックス、火災警報器、家庭用蓄電システム
カテゴリー 11：家具・オフィス／公共 機器設備	
11-01 生活家具	椅子、ソファ、テーブル、机、衝立、ハンガーポール、物干し、収納ケース、棚、収納家具、たんす、引き出し、ベッド
11-02 店舗・オフィス用家具	オフィスチェア、オフィステーブル、デスクワゴン、収納棚、キャビネットラック、ロッカー、収納システム、パーティション、応接セット、ラウンジソファ、ワークステーション、オフィス用シーリングライト
11-03 店舗・販売用什器	券売機、自動改札機、ATM、看板、デジタルサイネージ、理美容器具、パチンコ機器、展示・陳列什器、店舗用植物工場
11-04 公共用機器・設備	自動ドア、火災報知器、避難誘導等、教育施設用椅子・机、電話ブース、セキュリティゲート、公共用ゴミ箱、公共用仮設トイレ、公共施設用洗面台、公共施設用階段、ポラード、フェンス、街灯、サイン板、電柱、カーミラー、可動柵、ストリートファニチャー、観客席、点字タイル、舗装、公園用遊具、エレベーター、エスカレーター、プラネタリウム投光機
11-05 業務用厨房機器	寸胴鍋、蒸し器、揚鍋、中華鍋、ホテルパン・フードパン、キッチンポット、業務用フライパン、業務用ボール・ざる、業務用包丁、その他業務用調理器具、パンケットウェア、番重、バスボックス、ビザ窯、業務用冷蔵庫、業務用ワインセラー、業務用食器洗浄機、業務用給湯機、厨房、タオルウォーマー、製氷機、冷凍ストッカー
11-06 業務用機器・設備	レジカウンター、レシートプリンター、POS端末、ハンディターミナル、バーコードスキャナー、キャッシュドローワー、計数はかり、決済端末、レジスター、側溝蓋、マンホール蓋、分電盤、地震センサー、水量計測器、太陽光電池アレイ用架台、工事用フェンス、消火栓、工事用看板、安全旗、カラーコーン、バリケード、工事現場用照明、書架、基地局、送電塔、風力発電機、業務用照明器具、業務用天井埋め込み型エアコン
11-07 業務空間用建材・建具	監視カメラユニット、セキュリティボックス、監視制御システム、管制システム、制御パネル、業務用インターホン、シャッター



カテゴリー 12：モビリティ	
12-01 乗用車、乗用車関連機器	自家用乗用車、自家用車用タイヤ、カーナビ、ドライブレコーダー、カーオーディオ、カーストップパー、チャイルドシート、車載用スピーカーシステム
12-02 業務用車両、業務用車両関連機器	タクシー、バス、トラック、クレーン車など工事用車両、トラクターなど農耕作業用自動車、水陸両用車、消防車、除雪車など特殊車両、業務用車両用タイヤ、業務用カーナビ・ドライブレコーダー、ホイールバランス安全運転支援装置・システム
12-03 自動二輪車、自動二輪車関連機器	自家用・業務用自動二輪車、自動二輪車用タイヤ、速度計、ヘルメット、グローブ、ライディングウェア
12-04 パーソナルモビリティ・自転車、パーソナルモビリティ・自転車関連機器・商品	パーソナルモビリティ・自転車、自転車用ライト、サイクルコンピュータ・速度計、ライディングウェア
12-05 鉄道・船舶・航空機	鉄道車両、鉄道に関する設備、鉄道および鉄道運行に関するシステム・サービス、ヨット、モーターボート、水上オートバイ、クルーザー、旅客船、貨物船、特殊用船舶等、船舶全般とその関連機器・商品、ロケット・飛行機・飛行船・ヘリコプター・運搬用ドローン等、航空機全般とその関連機器・商品
12-06 移動・輸送システム・サービス（ロジスティクス・物流）	交通・移動システム・サービス、輸送・物流システム・サービス、交通管理システム
カテゴリー 13：建築（戸建て住宅～小規模集合・共同住宅）	
13-01 商品化・工業化住宅	商品として市場に提供されることを前提とする戸建住宅
13-02 戸建て住宅	特定の施主の要請に基づき個別に設計された戸建住宅
13-03 小規模集合住宅	延床面積 1,000㎡未満・住戸数 15 戸未満のオーナー型を中心とする小規模集合住宅（街区開発を伴う計画はカテゴリー 14 となります）
13-04 小規模共同住宅・寄宿舎	延床面積 1,000㎡未満のシェアハウス、高齢者ケアハウス、寮など特定の目的に基づいた共同住宅（街区開発を伴う計画はカテゴリー 14 となります）
13-05 住宅用工法・構法	住宅用建築工法、住宅用構造部材、住宅用免震構造
13-06 戸建・小規模住宅関連のサービス、システム／HEMS	エネルギー管理システム、収納・空調・水回りなどに関する提案
13-07 戸建て～小規模集合住宅のインテリア	住宅展示場
カテゴリー 14：建築（中～大規模集合・共同住宅）	
14-01 中～大規模集合住宅	延床面積 1,000㎡以上・住戸数 15 戸以上の中～大規模集合住宅・団地・ニュータウン・街区開発を伴う住宅地
14-02 中～大規模共同住宅・寄宿舎	延床面積 1,000㎡以上のシェアハウス、高齢者ケアハウス、寮など特定の目的に基づいた共同住宅
14-03 中～大規模集合住宅関連のサービス、システム／HEMS	集合住宅入居者向けサービス、住宅購入・設計支援サービス、住宅価値創造サービス
14-04 中～大規模集合住宅のインテリア	
カテゴリー 15：建築（産業／商業施設）	
15-01 オフィス・産業施設の建築・環境	オフィス、開発・研究施設、工場、工業団地、倉庫、物流センター、コンテナヤード、発電所・生産施設などのプラント施設、管理・制御のための施設などの建築と空間、サインシステム
15-02 オフィス空間・産業空間のインテリア	
15-03 商業のための建築・環境	複合商業施設、ショッピングセンター、各種店舗、ショールーム、ホテル等宿泊施設、映画館、劇場等娯楽施設の建築と空間、サインシステム／展示会空間、空間演出、照明計画、VMD（ヴィジュアルマーチャンダイジング）、チャペル、屋台
15-04 商業空間・店舗のインテリア	
カテゴリー 16：建築（公共施設）・土木・景観	
16-01 公共の建築・空間	庁舎、教育施設、医療・福祉施設、美術館・博物館・図書館等芸術文化交流施設、郵便局・銀行等金融施設、空港、駅舎、寺社等宗教施設、動物園・水族館・展望台等観光施設、体育館・スタジアム・競技場などの建築と空間、サインシステムおよび案内標識
16-02 公共建築のインテリア	
16-03 ランドスケープ、土木・構造物	ランドスケープ・環境デザイン、公園、広場、道路、ターミナル施設、橋梁、鉄塔、港湾・河川整備、ダム、堤防、トンネル、ジャンクション、上下水道等のインフラ構造物
16-04 街区・地域開発	街区整備、市街地開発、地域開発、都市計画
16-05 産業・商業・公共建築のための構法・工法	構造、構造部材／建築工法、土工工法、解体工法

カテゴリー 17：メディア・コンテンツ		
17-01	メディア・媒体	雑誌、ウェブサイト、フリーペーパーマガジン、自治体機関誌、地域広報誌
17-02	一般・公共用コンテンツ	書籍、電子書籍、テレビ番組、テレビゲームソフト、広告、プロモーション企画、販促・宣伝イベント、企業広報、地域観光マップ、地域振興キャンペーン、ミュージックビデオ、ARコンテンツ、VRコンテンツ、ライブビューイング、インフォグラフィック
17-03	業務用コンテンツ	社内向け情報配信メディア、社内誌、新商品発表会、ブランド管理マニュアル、業務ガイドライン、サービスマニュアル
17-04	広告・PR手法	広告コンテンツ、PRコンテンツ、PR手法
17-05	展示・ディスプレイ	展覧会、展示会、展示ブース・ディスプレイ、プロジェクションマッピング、映像インスタレーション
17-06	ブランディング・CI/VI	ブランディング、CI（コーポレート・アイデンティティ）、VI（ビジュアル・アイデンティティ）
17-07	フォント	ウェブフォント、デジタルフォント、ブランドフォント、フォントサービス
17-08	一般・公共用パッケージ	飲料・食品パッケージ、食品・飲料用包装容器、商品パッケージ、日用品の包装・容器、化粧品パッケージ、医薬品パッケージ、CDジャケット
17-09	業務用パッケージ	輸送用パッケージ、梱包容器、シェルフレディパッケージ
カテゴリー 18：システム・サービス		
18-01	一般・公共用アプリケーション・ソフトウェア、スマホ・タブレット向けアプリ	映像編集ソフトウェア、教育用アプリ・ソフトウェア、自動翻訳プログラム、家計簿アプリ、地図アプリ、SNS、共同作業ツール、旅行アプリ、家庭用医療サポートアプリ、個人向け金融アプリ、写真アプリ
18-02	一般・公共用システム・サービス	紛失防止デバイス、子育て支援サービス、介護支援サービス、防犯システム、教育システム、地域包括ケアシステム、修理サービス、見守りサービス、位置検索サービス、フォトギフトサービス、製本サービス、加工サービス、マイレージサービス、入退室管理システム、検索システム、マッチングサービス、ナビゲーションサービス、クラウドファンディングサービス
18-03	保険・金融サービス・システム	資産運用システム、保険契約サービス、金融商品運用システム
18-04	業務用ソフトウェア	CADソフトウェア、開発用ソフトウェア、医療用ソフトウェア、顧客管理用アプリ、収益最適化ツール、宿泊管理システム、画像解析ソフトウェア、業務用データ管理アプリ、店舗管理ツール、チームマネジメントアプリ、業務改善アプリ
18-05	業務用システム・サービス	従業員管理システム、フランチャイズシステム、コインパーキングシステム、データ可視化システム、データ分析サービス、顧客管理サービス、無菌システム、FAシステム、ロジスティクスシステム、POSシステム、オーダーシステム、ASPサービス、遠隔医療システム、電子カルテシステム、図書館検索システム、EMC（電子機器受託生産サービス）、組織改善システム
18-06	社会基盤システム／インフラストラクチャー	上下水道システム、発電システム、スマートグリッド、エコシステム、認証制度、災害危機管理システム、医療連携システム、納税システム
カテゴリー 19：地域の取り組み・活動		
19-01	地域の取り組み・活動	地域文化支援、地域資源保全活動、自治体制度、地域再生プロジェクト、地域交流プログラム、発展途上国支援
19-02	コミュニティづくりの取り組み・活動	地区の交流推進への取り組み、まちづくりへの取り組み、コミュニティプラットフォーム、祭り企画、イベント企画
カテゴリー 20：一般向けの取り組み・活動		
20-01	一般・公共向け取り組み・活動	貧困支援、出産・子育て支援、ソーシャルビジネス、男女共同参画社会実現への取り組み、脱炭素社会実現への取り組み、サーキュラー・エコノミー推進への取り組み
20-02	個人・公共向けの意識改善	防災意識向上のための取り組み、職業体験ワークショップ、体験型学習プログラム、復興支援に関する取り組み、文化啓蒙活動
20-03	産業向け意識改善・マネジメント・取り組み	働き方の改善、業務フローの改善、業務意識改革、組織改革、組織・チーム編成手法、雇用制度、就業規則、雇用創出支援、創業支援、発展途上国向けの技術支援、技術者派遣、特許の無償提供、コワーキングスペース、ワークスペース
20-04	教育・推進・支援手法	教育プログラム、教育支援プログラム、住まいづくり支援プログラム、ボランティア支援プログラム、技術研修システム、スキルシェアサービス、ワークショッププログラム
20-05	研究・開発手法	調査手法、分析手法、アイデア創出手法、産学協同による研究開発、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）、オープンソース開発

## 参考 記入項目一覧

応募に際し、「エントリーサイト」で登録が必要な項目の一覧です。

審査委員に応募対象の概要・特徴がしっかりと伝わるように、端的かつ明快にまとめてください。

※ 印は必須項目です。

文字数制限には、スペース・約物/記号等も1文字として含みます。

英文の場合も上記同様かつ文字数の積算は1単語(1 word)ではなく、1文字(1 character)ずつです。

(公開)と記載の項目は受賞した場合に公開されます。受賞発表前には最終の確認のために、編集・修正期間を設けますが、応募締切日時から審査期間中は登録内容の調整はできません。

### 1. 基本情報

応募対象の最も基本的な事項について記入いただく項目です。

#### 1-1. 応募対象

##### 応募カテゴリー (公開) ※

##### 応募対象の一般名称 (例:スマートフォン、乗用車、活動など)

- ・和文表記 (公開・20字以内) ※
- ・英文表記 (公開・50字以内)

##### 応募対象の固有名称 (具体的な商品名、ブランド名など)

- ・和文表記 (公開・45字以内) ※
- ・英文表記 (公開・100字以内) ※

##### 応募者 (応募企業) 名

「応募者」は、審査を通過した際にそのまま「受賞者」となります。受賞者はウェブサイト・表彰状等に掲載され、Gマーク使用の申込みが可能になります。受賞発表日以降はいかなる理由があっても、受賞者の追加や変更はできません。応募受付締切日時までに、必ず過不足のないように応募者登録を行い、応募確認書を提出してください。連名で(複数の企業・団体で)応募することも可能です。

- ・和文表記 (公開・50字以内) ※
- ・英文表記 (公開・100字以内) ※

##### 事業主体 (クライアント) 名

- ・和文表記 (公開・50字以内) ※
- ・英文表記 (公開・100字以内) ※

#### 1-2. デザイナー情報

プロデューサー、ディレクション、具体的デザインの3つの立場でデザインに関わった方のお名前をご記入ください。

(該当する役割がない場合は記入不要ですが、1項目以上の記入を必須とします)

記入例: 公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局 ○○○○、○○○○

##### プロデューサー

- ・和文表記 (公開・100字以内) ※
- ・英文表記 (公開・200字以内) ※

## ディレクター

- ・和文表記（公開・100字以内）※
- ・英文表記（公開・200字以内）※

## デザイナー

- ・和文表記（公開・100字以内）※
- ・英文表記（公開・200字以内）※

### 1-3. 仕様など

#### 仕様（公開・200字以内）※

応募対象の主な仕様を記してください。

※製品の場合：寸法、重量、容量、材質など

※ソフトウェアの場合：利用者のターゲット、動作環境など

※サービスや取り組みの場合：利用者のターゲット、利用形態、利用範囲など

※建築の場合：面積（敷地、建築、延床）、主体構造・工法、階数など

#### 発売または利用開始日（公開）※

- ・発売 発売予定 利用開始 その他（50字以内）
- ・年月日 受賞時は年・月のみを公開する

#### 販売 / 利用対象地域または設置場所（公開）

- ・[日本国内向け / 国外市場向け / 国内・海外共通仕様]
- ・建築物など設置場所が特定できる場合は、その所在地を記入してください。（50字以内）
- ・設置場所：

#### 販売 / 利用価格（公開）または総事業費（非公開）※

※製品・サービスの場合は、販売 / 利用価格、それ以外の場合は総事業費を記入。

※単一価格の場合は、左側だけに記入。価格帯がある場合は、下限と上限を記入。

※オープンプライスの場合は、参考価格を記入。未発売商品は、予定価格を記入。

※オープンプライスや総事業費は、受賞された場合も公開されません。

- ・[販売価格 / 総事業費]
- ・[価格1] ~ [価格2] [通貨単位]  
(通貨単位は[円] [USドル] [元(中国)] [元(台湾)] [韓国ウォン] [ユーロ]より選択)
- ・オープンプライス Yes No
- ・備考：(100字以内)

#### 応募対象情報掲載 URL（公開・200字以内）

### 1-4. 画像・資料

#### 審査用・公開用画像

※受賞した場合は、受賞発表前に最終の確認のために、編集・修正期間を設けますが、応募締切日時から審査期間中は登録内容の調整はできません。

※画像は、JPEG形式、RGBカラー、矩形の長辺が190mm程度で解像度350dpiとしてください。

※画像、PDFファイルともにファイルサイズは2MB以内としてください。

※ファイル名は半角英数字とし、拡張子（.jpgまたは.pdf）を必ずつけてください。

※PDFファイルは「補足資料」にのみアップロード可能です。

※メイン画像は、受賞時にウェブサイト・受賞年鑑等に掲載します。

※年鑑掲載用画像は、メイン画像とは別に受賞年鑑用の画像を用意したい場合に任意で登録してください。

（画像をレタッチ / 修正 / トリミングして使用する場合があります）

- ・写真1:メイン画像 (JPEG 画像・公開) ※ 受賞年鑑掲載及びウェブ公開用写真としても使用します。
- ・写真2:使用利用状況を示す画像など (JPEG 画像・公開)
- ・写真3:デザインが注力したポイントを示す画像など (JPEG 画像・公開)
- ・デザイナーの顔写真 (JPEG 画像・公開、説明 50 字以内)
- ・補足資料:その他、審査時に確認して欲しい資料 (JPEG 画像または PDF ファイル、説明 50 字以内)
- ・年鑑掲載用画像 (JPEG 画像)

### 審査用動画 (非公開)

※ とくに応募対象が、

- ・ BtoB 商品
- ・ 応募カテゴリーが「09. 産業 / 医療 機器設備」の商品
- ・ スマートフォン / タブレット用アプリ

については、設置、動作、使用状況等を示す動画を極力ご用意ください。

※応募対象の説明動画がウェブ上にすでにある場合、アップロードもしくはリンク先を下記に記入してください。

※長さは、1分程度まで、ファイルサイズは100メガバイト以下、.mp4形式としてください。画面解像度は、1920×1080pixel (1080p)を推奨します。

※上記条件に合わせられない場合は、動画サイト (YouTube、Vimeo 等) にアップロードし、そのリンク先 URL を記載してください。

- ・ 動画1のリンク先 URL (400字以内)
- ・ 動画1の説明 (400字以内)
- ・ 動画2のリンク先 URL (400字以内)
- ・ 動画2の説明 (400字以内)

## 2. 審査情報

審査時に審査委員が確認する項目です。

### 2-1. 応募対象の概要

#### 概要 (公開・160字以内) ※

応募対象の概要 (全体像・応募対象が誰のための何のデザインであるか) を簡潔明瞭に記述してください。

#### 概要英文 (海外審査委員の審査時に必要なため必須情報 / 公開・400字以内) ※

上記の概要を英文でも記述してください。

#### デザインのポイント (公開・各50字以内) ※

3点以内で箇条書きにしてください。(例:目的、実現手段 / 方法、それらによって得られた効果・効用など)

- ・ ①
- ・ ②
- ・ ③

#### デザインが生まれた理由 / 背景 (公開・400字以内) ※

企画・開発の理由、デザインをするうえで意識した社会背景・市場動向などについて記述してください。開発に際し、SDGs など社会課題に対する問題意識がある場合には具体的に記述してください。

#### デザインを実現した経緯とその成果 (公開・400字以内) ※

デザインの目標、創意工夫した点、成果とされる点を具体的に記述してください。

## 2-2. 応募対象の補足情報

### デザインの改良、競合・類似デザインとの差異について（非公開・400字以内）

応募対象が既存のデザインのリニューアルやアップデートにあたる場合、その変更された点について、競合・類似事例がある場合は応募対象がそれらと異なる点を記述してください。

### これまでの実績（非公開・400字以内）

販売実績や、活動歴、継続年数など具体的な実績や事例等がある場合に記述してください。

### 自由記入欄（非公開・400文字以内）

これまでに記入しきれなかった応募対象の特徴や当事者として伝えたい点などがあれば記述してください。

## 3. 運営情報

### 3-1. 知的財産 / 関連法規 / 過去のグッドデザイン賞との関連

#### 知的財産及び関連法規について

- ・ 応募対象が新規に取得した産業財産権登録番号（または出願番号）（100字以内）

#### 過去のグッドデザイン賞との関連について

- ・ 応募対象が自社の過去グッドデザイン賞受賞対象と関連のある場合、その受賞番号と応募対象との関連を記載してください（100字以内）

### 3-2. 情報公開等に関する各種情報

#### クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに基づき主催者が定めた条件で公開することを承諾しますか？※

- ・  承諾する  承諾しない

#### どこで購入できるか、どこで見られるか

- ・ この応募対象を実際に購入できる、見ることができる代表的な店舗名や場所を記入してください。（公開・50字以内）
- ・ 上記に関連するウェブサイトやウェブコンテンツ、公式ウェブショップがあればURLを記入してください。（公開）
  - タイトル：（50字以内）
  - URL：（160字以内）
  - タイトル：（50字以内）
  - URL：（160字以内）
  - タイトル：（50字以内）
  - URL：（160字以内）

# 参考 エントリーサイト登録ガイド（応募手順）

グッドデザイン賞は専用ウェブサイト「エントリーサイト」を通して応募を受け付けます。

エントリーサイト <https://www.g-mark.org/guide/2022/entry.html>

## ① アカウント登録・エントリーサイトにログイン

エントリーサイトにアカウントをお持ちでない場合は、新規登録が必要です。アカウント情報に登録されたメールアドレス・住所へ事務局からのお知らせ等、各ご案内をお送りいたします。登録内容に変更がある場合は、かならず情報の更新をお願いします。1つのアカウントで複数の応募対象を登録することができます。

※この登録ガイドで紹介している画面サンプルは、最終仕様と表記等が若干異なる場合があります。



アカウントをお持ちでない方は、こちらから新規登録に進んでください。

アカウントをすでにお持ちの方は、こちらからログインしてください。

## ② エントリーサイトにて応募者登録

エントリーサイトにログインの上、「応募者一覧」から★1 応募者（受賞した際に受賞者となる）を登録してください。連名で応募することも可能です。連名応募の場合は、P26 連名応募の登録手順も参照してください。応募受付締切日時までに必ず過不足のないように応募者登録を行い、応募確認書を提出してください。応募者を登録した後は★2 新規応募対象登録に進みます。

### ▼ エントリーサイト ホーム画面



★1 ここから応募者を登録します。応募締切日時までは新規登録・追加・変更ができます。

グッドデザイン賞事務局から応募者の方への通知事項を掲示します。

★2 応募対象はこちらから登録します。

登録した応募対象がある場合に、その進捗を表示します

登録した応募対象を確認できます。複数応募の場合は、応募者ごとに一覧が表示されます。

▼ 応募対象登録画面

赤い※印のついた項目は記入が必須の項目です。必須項目に未記入があると、完成度が100%になりません。

応募対象の事業主体者を登録してください。

★1 応募者一覧で登録した情報と、応募対象を関連付けする項目です。

保存を押すと、応募対象が登録されます。登録した情報は、応募締切日時まで、編集が可能です。

応募者の選択は、「選択する」をクリックすると、★1で登録済みの応募者がプルダウンで表示されます。応募者を登録していない場合は「+新規登録」をクリックして、応募者を登録します。登録済みの情報を編集することもできます。  
 ◆マークで表示順序が入れ替わります。応募者の表記に序列がある場合は、こちらで調整してください。  
 この順序は、受賞した場合に、表彰状やウェブサイト等に反映されます。

③ 応募対象詳細登録

新規応募対象登録後は、ステータスが「未応募」となります。続いて、応募対象の詳細情報を登録してください。

▼ 応募対象詳細登録画面

登録した応募対象の一般名称[固有名称]が表示されます。

記入項目には  
 1. 基本情報  
 2. 審査情報  
 3. 運営情報  
 があります。赤い※印のついた必須項目すべてを記入・登録してください。



▼ 応募対象詳細登録画面 (1-1 応募対象)

各項目の「編集」をクリックすると入力フォームが現れます。  
 入力フォームの右下に文字数制限の入力数と上限数が表示されますので、参考してください。  
 入力が終わったら、必ず「保存」をクリックしてください。

▼ 応募対象詳細登録画面 (1-4 画像・資料)

画像は  
 形式: JPEG  
 カラー: RGB  
 サイズ: 2MB 以内  
 矩形の長辺が 190mm 程度で解像度 350dpi としてください。  
 画像は、応募対象そのものがはっきりとわかるものとしてください。  
 「補足資料」のみ JPEG もしくは PDF がアップロードできます(サイズ 2MB 以内)。

▼ 応募対象詳細登録画面 (1-4 画像・資料)

登録した画像の一部がサムネイルとして表示されます。  
 「編集」ボタンで画像の登録、サムネイル右上のアイコンから画像の削除が可能です。

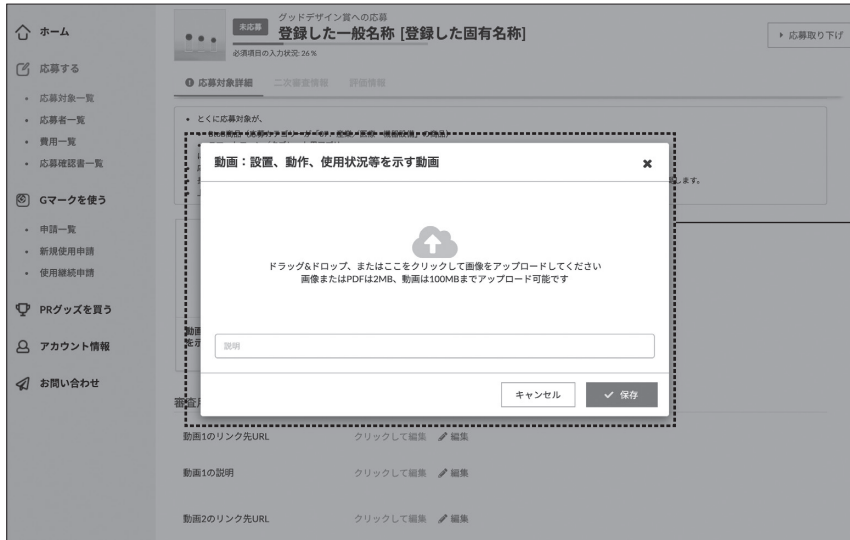
▼ 応募対象詳細登録画面 (1-4 画像・資料)

※ とくに応募対象が、

- ・ BtoB 商品
- ・ 応募カテゴリが「09.産業/医療機器設備」の商品
- ・ スマートフォン/タブレット用アプリ

については、設置、動作、使用状況等を示す動画を極力ご用意ください。

写真で伝えきれない情報を補足するために利用してください。スマートフォン、デジタルカメラなどで簡単に撮影した動画でもかまいません。



応募対象の説明動画がある場合、アップロードするか、リンク先を記入してください。

- 形式：mp4
- サイズ：100MB以内
- 長さ：1分程度
- 画面解像度(推奨)：1920 × 1080 pixel (1080p)

上記条件に合わせられない場合は、動画サイト(YouTube、Vimeo等)にアップロードし、そのリンク先 URL を登録してください。リンク先 URL にパスワード認証をかけている場合、説明欄に ID / パスワードを記入してください。

④ 応募を確定する・応募確認書をアップロードする [締切日時 5月25日(水) 13:00 まで]

エントリーサイトにて応募対象詳細の情報登録が完了したら「応募を確定する」ボタンを押して応募の確定を行い、応募確認書のアップロードを行ってください。応募受付締切日時までは、応募確定後も登録情報の編集は可能です。応募受付締切日時を過ぎると、情報の登録・編集・修正・新規応募はできません。

応募受付締切日時に「応募済」状態にあり「応募確認書」がアップロード(提出)されたものを審査対象とします。

応募しない登録情報は「応募取り下げ」ボタンをクリックして「取り下げ」状態にしてください。

▼ 応募対象一覧画面

応募対象と応募者を登録すると「応募確認書」がダウンロードできるようになります。応募対象が複数ある場合は、応募者の組み合わせごとに応募確認書のデータが自動作成されます。



このボタンからも「応募確認書一覧」ページを見ることができます。

登録した情報をまとめて CSV フォーマットでダウンロードすることができます。

応募対象が複数ある場合は、この部分以下に、応募者の組み合わせごとに応募対象が表示されます。

## ▼ 応募確認書一覧

ここから応募確認書データがダウンロードできます。

記入・押印済みの応募確認書データは、ここからアップロードしてください。

## ▼ 応募対象詳細画面 (応募確定後)

「応募を確定すると、こちらの表示が「応募済」に変わります。

登録の進捗状況を確認できます。応募締切日時までに、必ず100%完成させてください。

応募確定後も、応募締切日時までは「取り下げ」を自由に行うことができます。一旦取り下げても、登録データが消えることはありません。再度、「応募を確定する」ことも可能です。

2022年度グッドデザイン賞の応募締切日時は、5月25日(水) 13:00までです。この日時までに、エントリーサイトで応募情報の登録と、応募確認書のアップロードを行ってください。締切日時付近はエントリーサイトへのアクセスが集中します。余裕をもって準備を行ってください。

## ⑤ 一次審査結果通知 [6月27日(月)]

エントリーサイトにて一次審査結果を通知します。ご自身でログインの上、確認してください。「応募対象一覧」から確認することができ、結果通知書をPDFにて表示・印刷することができます。  
※一次審査結果は一般公開しません。応募者が結果を公表することもできません。

# 参考 連名応募の登録手順

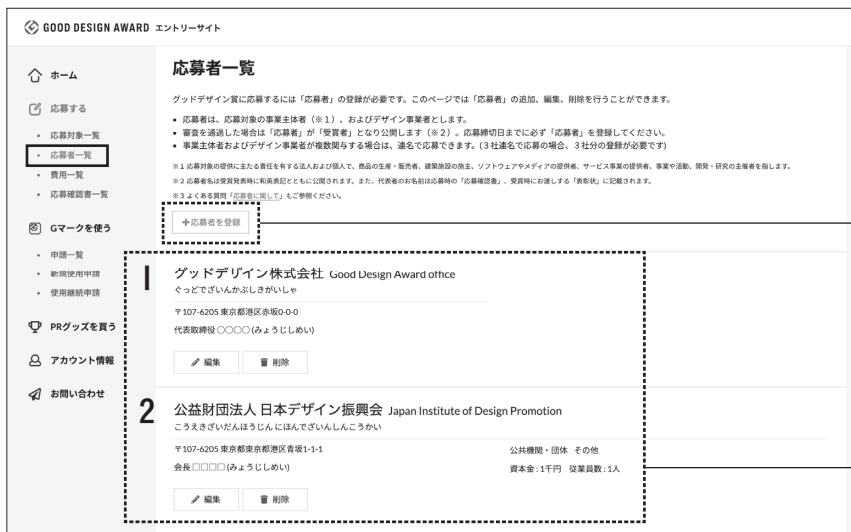
## 複数の企業・団体が連名で応募する場合は、以下の登録が必要です。

グッドデザイン賞の「応募者」は、審査を通過した際にそのまま「受賞者」となります。受賞者はWEB サイト・表彰状等に掲載され、G マーク使用の申込みが可能になります。受賞発表日以降はいかなる理由があっても、受賞者の追加や変更はできません。応募受付締切日時までに、必ず過不足のないように応募者登録を行ってください。なお、同名の企業を複数登録することはできません。

※企業や団体に所属しない個人が応募者となる場合は、エントリーサイトの入力項目にある表示にしたがって入力・保存してください。

### ① エントリーサイトの応募者一覧ページにて、応募者情報を登録

応募対象一覧 > 詳細を見る > 応募者 項目からも応募者情報の登録・編集は可能です。



ここから応募者を登録します。  
2社連名で応募する場合は、2社分それぞれの情報登録が必要です。  
※同名の企業を複数登録することはできません。  
登録された応募者が、企業名よみがなの五十音順で表示されます。

### ② 応募対象一覧 > 詳細を見る > 応募者 項目にて、応募者を設定（順序含む）

編集ボタンをクリックすると「選択する」ウィンドウが出ます。「応募者一覧」ページで入力した情報がプルダウン表示されるため、該当応募対象の「応募者」を選択して「保存」してください。



応募者の順序を変更する際は⇄をクリックしてスライドしてください。この順序は受賞した際の表彰状に反映します。  
※応募確認書では企業名の五十音順に表記します。

### ③ 応募確認書をダウンロードし、記入・押印後にアップロード（提出）

①、②の設定を行うと「応募確認書」にも応募者が連名で表示されるようになります。応募確認書は「応募確認書一覧」ページからダウンロードが可能です。ダウンロード後は記入・押印してアップロードしてください。

## 参考 応募確認書サンプル

エントリーサイト左メニュー「応募確認書一覧」にある「応募確認書提出用データをダウンロード」からダウンロードできる応募確認書のサンプルです。エントリーサイトに入力した情報が自動的に反映されます。応募者欄のQRコードは、事務局の提出チェック用です。

記入・押印済の確認書をアップロード後に、応募対象の一般名称／応募対象の固有名称／応募者 情報等を変更・追加する場合は、該当の「アップロード（提出）済のデータ」は削除し、エントリーサイトの該当項目を調整の上、応募確認書に最終の正しい情報を反映してから、改めて「応募確認書提出用データ」を再度ダウンロードし、記入・押印の上アップロードしてください。エントリーサイトの登録と確認書の内容に齟齬がある場合、提出チェック用のQRコードは無効になります。

以下の手順と注意事項を必読の上、記入・押印済の応募確認書を 00/00/00 JSTまで にエントリーサイトよりアップロードしてください。

- ① 本書記入日・確認事項欄を記入する。
- ② 応募者欄に表示された応募者名部分に社印(角印)を押印する。※押印については注意事項をご確認ください。
- ③ 記入・押印済の応募確認書をエントリーサイト「応募確認書」ページよりアップロードする。

### 20XX 年度グッドデザイン賞 応募確認書

公益財団法人日本デザイン振興会 殿

応募者は「20XX 年度グッドデザイン賞開催要綱」「20XX 年度グッドデザイン賞応募要領」「20XX 年度グッドデザイン賞審査要領」に記載されたすべての事項に同意の上、以下を応募いたします。

本書記入日  年  月  日


#### 確認事項


応募対象の事業主体者（建築応募の場合は施主）が、応募者に含まれていますか？  
※「いいえ」にチェックが入る場合は、応募同意書を0/0までにご提出ください。

はい  いいえ

#### 応募者

(五十音順)

1 くつどでざいんかぶしがいしゃ  
グッドデザイン株式会社   
代表 ○○○○

2 にほんでざいんしんこうかい  
日本デザイン振興会   
会長 □□□□

応募者ごとに押印してください。  
押印については「注意事項」を  
ご必読ください。



#### 応募対象

No.1 登録した一般名称 / 登録した固有名称

#### 注意事項

提出や押印に際してはこの部分にある「注意事項」を必読の上、ご準備ください。  
準備完了後はスキャンし、エントリーサイトにてアップロード(提出) してください。

#### エントリーサイトアカウント情報

グッドデザイン株式会社 (くつどでざいんかぶしがいしゃ) / 担当者氏名 (たんとうしゃしめい)  
info@help.g-mark.org / 00-0000-0000

記入してください。

連名応募の場合は、応募者となる企業・団体の数だけこちらに表示されます。  
(見本は2社連名応募のため、2社分の情報が表示されています)

記入してください。

グッドデザイン賞事務局からのお知らせ、応募確認書に不備がある場合などは、アカウントメールアドレス宛に、メールにて連絡します。



## [2022年度グッドデザイン賞 開催要綱及び各種要領]

開催要綱	30
応募要領	32
審査要領	35
Gマーク使用要領	37

# 開催要綱

この「グッドデザイン賞開催要綱」は、グッドデザイン賞事業の基本的な事項を定めたものです。

この要綱に基づき、以下の要領を定めています。

- ・グッドデザイン賞応募要領
- ・グッドデザイン賞審査要領
- ・Gマーク使用要領

## 1) グッドデザイン賞とは

公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞は、豊かさや持続可能性に満ちた生活と産業そして社会の実現を目指し、グッドデザイン賞の理念に基づいた公正な審査を行い、賞賛すべき優れたデザインを選び広く推奨する活動です。

この活動は1957年に誕生した通商産業省による「グッドデザイン商品選定制度」を前身としたものです。

## 2) グッドデザイン賞の理念

グッドデザイン賞は、「優れたデザイン」を選び推奨することで、今後のデザインを実践していくための良き見本を提供し、次なる社会に向けた「創造の連鎖」を生み出す基盤としての役割を果たします。グッドデザイン賞が示す「優れたデザイン」とは、以下の理念を志向するデザインです。

人間 (HUMANITY)	もの・ことづくりを導く創発力
本質 (HONESTY)	現代社会に対する洞察力
創造 (INNOVATION)	未来を切り開く構想力
魅力 (ESTHETICS)	豊かな生活文化を想起させる想像力
倫理 (ETHICS)	社会・環境をかたちづくる思考力

## 3) グッドデザイン賞の活動

グッドデザイン賞は、以下の活動から構成されます。

- ・発見：グッドデザイン賞の審査を通じて、現在の社会におけるクオリティスタンダードや、次なる社会への可能性を発見する活動。
- ・共有：グッドデザイン賞を発表・顕彰し、受賞者とともに発見を広く社会へと訴求する活動。
- ・創造：共有された発見から、新たな創造への気づきを導き、次なるクオリティスタンダードの糧へとつなげる活動。
- ・グッドデザイン賞の成果を通じて、国際社会の発展に寄与する活動。

## 4) グッドデザイン賞への応募

グッドデザイン賞は、応募者からの応募に基づき実施されます。応募の受付期間は、2022年4月1日の日本時間午後1時から5月25日の日本時間午後1時までとします。詳細は、「グッドデザイン賞応募要領」に定めます。

## 5) 審査委員会

主催者は、グッドデザイン賞の趣旨を理解し豊富なデザイン経験等を有する有識者からなるグッドデザイン賞審査委員会を設置し、審査を託します。審査委員会はすべての賞を確定する権限を有します。

2022年度グッドデザイン賞審査委員会は、安次富 隆審査委員長、齋藤 精一審査副委員長がこれを統括し、審査を実施します。

審査委員は別表「審査委員会」に記載します。

## 6) 「グッドデザイン賞」の審査及び「グッドデザイン・ベスト100」の選出

「グッドデザイン賞」の審査は、応募者から提示された情報をもとに行う「一次審査」と、応募対象の現品等をもとに行う「二次審査」によって実施します。二次審査を通過し主催者による発表を経て、応募対象は「グッドデザイン賞受賞」となり、応募者は受賞者となります。また、グッドデザイン賞を受賞した全ての対象（以下「受賞対象」）の中で、これからの生活・産業・社会を導き、明日を拓き得る優れたデザインを「グッドデザイン・ベスト100」として選出します。

## 7) グッドデザイン特別賞の構成

「グッドデザイン・ベスト100」に選出された受賞対象の中から特に優れているものに下記の「グッドデザイン特別賞」を贈呈します。なお、賞の名称等については変更する場合があります。また、下記以外の賞を新設する場合もあります。

(審査委員、グッドデザイン賞受賞者等によって選出)

### グッドデザイン大賞 (内閣総理大臣賞)

2022年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、最も優れたデザインと認めるもの

(審査委員会が選出)

### グッドデザイン金賞 (経済産業大臣賞)

2022年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に優れたデザインと認めるもの

### グッドフォーカス賞 [新ビジネスデザイン]

#### (経済産業省 商務・サービス審議官賞)

2022年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、新たなビジネスモデルや新産業の創出、イノベーションの促進に寄与する優れたデザインとして特に認めるもの

### グッドフォーカス賞 [技術・伝承デザイン] (中小企業庁長官賞)

2022年度に選ばれた中小企業のグッドデザイン賞受賞対象の中で、高度な技術や技能によって実現された、特に優れたデザインの製品であると認めるもの

### グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン] (日本商工会議所会頭賞)

2022年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、地域社会の持続的発展や経済の活性化に特に寄与するデザインと認めるもの

### グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン] (日本デザイン振興会会長賞)

2022年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、自然災害への防備または自然災害による被害からの復興に寄与する優れたデザインとして特に認めるもの

## 8) グッドデザイン特別賞の審査

主催者は2022年9月16日に、「グッドデザイン・ベスト100 プレゼンテーション審査」を含む「特別賞審査会」を実施します。審査委員会は、グッドデザイン賞の理念に照らし、「グッドデザイン・ベスト100」の中から「グッドフォーカス賞」及び「グッドデザイン金賞」を選出します。さらに、「グッドデザイン金賞」の中から「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」を選出します。

## 9) 「グッドデザイン賞」、「グッドデザイン・ベスト100」、「グッドフォーカス賞」、「グッドデザイン金賞」及び「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」の発表

主催者は、2022年度の「グッドデザイン賞」、「グッドデザイン・ベスト100」、「グッドフォーカス賞」、「グッドデザイン金賞」及び「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」を2022年10月7日に発表します。主催者はプレスリリースを行うとともに、グッドデザイン賞のウェブサイトを通じて受賞結果を公開します。受賞者は、この発表日をもって受賞結果を公表することができます。

## 10) 「グッドデザイン大賞」の選出及び発表

主催者は、2022年11月1日に「グッドデザイン大賞」を「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」の中から、審査委員、グッドデザイン賞受賞者等の投票によって選出し、結果を発表します。大賞選出の詳細については「グッドデザイン大賞選出規則」に定めます。

主催者はプレスリリースを行うとともに、グッドデザイン賞のウェブサイトを通じて受賞結果を公開します。グッドデザイン大賞の受賞者は、この発表日をもって受賞結果を公表することができます。

## 11) グッドデザイン賞の表彰

主催者は、全てのグッドデザイン賞受賞対象に表彰状を贈呈します。

## 12) グッドデザイン賞受賞年鑑の発刊

主催者は、全てのグッドデザイン賞受賞対象を収録した受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2022」を、2023年3月に発刊します。



**13) グッドデザイン賞の広報活動**

主催者は受賞対象を通じて生活者、産業界へデザインへの理解を深める広報活動や、受賞対象の販路拡大等を支援する活動を幅広く展開します。また国際的な連携を通じて、各国各地域のデザインの向上を図る活動に取り組みます。

**14) 「Gマーク」の使用**

グッドデザイン賞受賞対象は、受賞の証である商標「Gマーク」を使用して広報活動や販売促進活動を展開することができます。詳細は、「Gマーク使用要領」に定めます。

**15) グッドデザイン賞にかかる費用**

応募者は「グッドデザイン賞応募要領」及び「Gマーク使用要領」に定める費用を負担します。

**16) 情報の公開**

主催者は、グッドデザイン賞の応募者から提供された情報のうち予め指定する情報を、グッドデザイン賞の広報のために使用することがあります。また審査終了後、全ての受賞対象について「優れている理由」を公開します。主催者と審査委員会は、受賞に至らなかった対象を含め、個別の審査内容に関する情報の開示請求には対応しません。詳細は、「グッドデザイン賞応募要領」に定めます。

**17) 応募対象情報の守秘義務**

主催者、審査委員及び審査会等業務の関係者は、応募対象についての非公開情報や審査等を通じて得られた秘密情報について守秘義務を負います。

**18) 応募者の責任に帰する事項**

グッドデザイン賞の応募対象に関する意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性等の要件及びその販売、施工等に関して生じた問題の責任については、応募者が負うものとし、主催者はその一切の責任を負いません。グッドデザイン賞への応募により、応募者、受賞者あるいはその他の第三者の間で生じた紛争については、主催者はその一切の責任を負いません。

**19) 応募の取り下げ及び失格**

応募者は、応募の確定後であっても、2022年10月6日までの間は応募を取り下げることができます。

詳細は、「グッドデザイン賞応募要領」に定めます。

なお、応募者が「グッドデザイン賞開催要綱」及び「グッドデザイン賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその応募を失格とします。

**20) 受賞の取り消し**

「グッドデザイン賞」及び「グッドデザイン特別賞」の受賞者が、受賞発表後に「グッドデザイン賞開催要綱」「グッドデザイン賞応募要領」及び「Gマーク使用要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

また、「グッドデザイン賞」及び「グッドデザイン特別賞」の受賞対象について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

- ・受賞対象が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。
- ・受賞対象が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。
- ・受賞者及び受賞対象に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。

**21) 主催ならびに後援**

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

後援（予定）：経済産業省／中小企業庁／東京都／日本商工会議所／日本貿易振興機構（JETRO）／国際機関日本アセアンセンター／日本経済新聞社／NHK／World Design Organization

**22) 国際連携**

グッドデザイン賞は、以下のデザイン賞と制度連携を結んでいます。

- ・タイ王国商務省主催「デザインエクセレンス アワード」
- ・インドデザインカウンシル主催「インディア デザイン マーク」
- ・シンガポールデザイン商工会議所主催「シンガポール グッドデザイン マーク」
- ・トルコ経済省・トルコインダストリアルデザイナー協会・トルコ輸出業者議会主催「デザイン ターキー」
- ・インドネシア商業省主催「グッドデザイン インドネシア」

2022年4月1日

※2022年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によっては変更になる場合があります。

# 応募要領

この要領は、2022年度グッドデザイン賞の応募にあたり必要な事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

- 1) 応募対象、応募者及び応募方法
- 2) グッドデザイン賞に関わる費用
- 3) 応募等の手続き
- 4) 特別な応募及び審査
- 5) 応募に関する留意事項

## 1) 応募対象、応募者及び応募方法

### 1-1. 応募対象

応募対象は、2023年3月31日までに、ユーザーが購入または利用できるもの・ことで、2022年10月7日の受賞発表日に公表できるものとします。

### 1-2. 応募者

応募の資格を有する応募者は、「応募対象の事業主体者」及び「デザイン事業者」とします。

応募対象の事業主体者とは、「応募対象の提供に主たる責任を有する法人及び個人で、商品の生産・販売者、建築施設の施主、ソフトウェアやメディアの提供者、サービス事業の提供者、事業や活動、開発・研究の主催者等」とします。

事業主体者及びデザイン事業者が複数関与する場合は、連名で応募することができます。

応募時点で「応募者」として登録されていない場合、受賞時に「受賞者」となることはできません。

事業主体者を応募者として登録しない場合、応募者は事業主体者による「応募同意書」を作成し主催者に送付します。

なお、暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等は応募資格がありません。

### 1-3. 応募者の義務

グッドデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の義務を負うものとします。これらの義務が実行されなかった場合、主催者は当該応募者の応募を失格とします。

なお、失格となってもその時点で「5) 応募に関する留意事項 5-4 応募の取り下げ」に記載する各取り下げ期日を過ぎている場合には、所定の費用の支払い義務は残存します。

- ・ 審査に必要な情報の登録
- ・ 審査委員会が希望する審査資料の提出
- ・ 応募対象の二次審査会場への搬入・搬出
- ・ 二次審査会場における搬入・搬出時の応募対象の管理
- ・ 応募対象がグッドデザイン賞を受賞した場合の公開用情報の提供、及び受賞年鑑への掲載
- ・ 「2) グッドデザイン賞に関わる費用」に記載する審査料等費用の、「3) 応募等の手続き」に記載する期日までの支払い

### 1-4. 応募方法

応募者は、主催者が用意するウェブサイト（以下「エントリーサイト」）を通じて4月1日の日本時間午後1時から5月25日の日本時間午後1時までの期間に応募対象や応募者の登録等の所定の手続きを行い、「応募確認書」を提出します。

なお主催者は、日本の法律や公序良俗に反するなど、グッドデザイン賞の趣旨や目的に合致しないと判断するものについては、応募を受理しない場合があります。

## 2) グッドデザイン賞に関わる費用

グッドデザイン賞に関わる費用は、以下の通り定めます。価格は全て税込みです。また、振込手数料等の支払いにかかる別途費用は応募者がこれを負担します。

なお、主催者は費用の請求業務を下記外部企業（以下「請求業務代行会社」）へ業務委託することがあります。その場合、応募者は費用の支払い

に必要な口座開設書類等の作成を請求業務代行会社へ依頼をします。

請求業務代行会社：株式会社ネットプロテクションズ  
支払い先：東京都千代田区麹町4-3-6  
住友不動産麹町ファーストビル5F

また、一度支払われた費用は、5) 応募に関する留意事項 5-3. 審査不可能と判断された応募対象の扱いに該当する場合は除き、返金しません。

### 一次審査料（全ての応募対象）

応募対象 1件につき11,000円

### 二次審査料

（一次審査を通過し、二次審査への参加を確定した全ての応募対象）

一次審査を通過し二次審査への参加を確定した応募対象（以下「二次審査対象」）1件につき58,300円

審査にあたり、追加スペースや主催者が手配する展示台、電気回線、インターネット回線などを使用する場合は、応募者がその実費を支払います。詳細は、一次審査結果通知後に配布される「二次審査の手引き」に記載します。

### 受賞パッケージ料（全ての受賞対象）

二次審査を通過した応募対象（以下「受賞対象」）1件につき88,000円

この中には、受賞対象1件につき1枚の表彰状及び1冊の受賞年鑑、グッドデザイン賞ウェブサイト「受賞対象一覧」及び受賞年鑑への掲載、並びに主催者の実施する受賞プロモーションが含まれます。

## 3) 応募等の手続き

グッドデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の手続きを行います。

### 3-1. 応募段階での手続き

#### 1. 応募者及び審査対象に関する情報の登録・「応募確認書」及び「応募同意書」の提出

応募者は、応募者及び審査対象についての審査用情報をエントリーサイトで登録します。応募期間は4月1日の日本時間午後1時から5月25日の日本時間午後1時までとします。

応募者は、上記の期間内に応募者及び審査対象についての情報をエントリーサイトに登録し「応募を確定する」ボタンを押下して応募を確定します。

同じく上記の期間内に、エントリーサイト「応募確認書一覧」ページより応募確認書のデータをダウンロードし、記入・押印済のデータを作成の上、アップロードにより提出します。

なお、応募確認書を提出していても「応募を確定する」ボタンが押下されおらず「未応募」となっている案件は、応募対象として取り扱いません。「1-2. 応募者」に記載する「応募同意書」の提出が必要な場合は別途、応募同意書を9月12日の消印有効にて主催者に送付します。

#### 2. 一次審査料の支払い

主催者又は請求業務代行会社は応募者に一次審査料の請求書を5月下旬以降に送付します。応募者は請求書に記載の期日までに支払います。

#### 3. 一次審査期間

一次審査の期間は、6月3日から6月26日までとします。

### 3-2. 一次審査から二次審査までの手続き

#### 1. 一次審査結果の通知

一次審査は、応募者から提示された情報をもとに実施されます。

主催者は応募者に対し、一次審査結果を6月27日にエントリーサイトに通知します。

#### 2. 二次審査への参加の確定及び二次審査における提示物・必要事項の登録

応募者は、6月27日から7月4日までに「二次審査への参加を確定する」ボタンを押下し、二次審査対象の提示方法等をエントリーサイト上で登録します。

### 3. 二次審査料の支払い

主催者又は請求業務代行会社は応募者に、二次審査料及び電気使用料等二次審査の実施に必要な費用の請求書を7月中旬以降に送付します。応募者は請求書に記載の期日までに二次審査料を支払います。

### 4. 二次審査期間

二次審査の期間は、7月5日から8月18日までとします。

### 3-3. 二次審査における手続き

主催者は、二次審査会を以下の通り実施します。

応募者は、主催者が指定する日時及び場所へ二次審査対象の現品またはパネル等の代替物を搬入、搬出します。

二次審査会は原則として非公開で行われます。

搬入日：8月1日(月)

二次審査会：8月2日(火)～4日(木)

搬出日：8月5日(金)

会場：愛知県国際展示場 B、C、Dホール

### 3-4. 二次審査後の手続き

#### 1. 二次審査結果の通知

主催者は応募者に対し、8月19日に二次審査結果及びグッドデザイン・ベスト100選出結果をエントリーサイトにて通知します。

また、二次審査通過対象については、審査によって得られた「評価のポイント」を9月中旬までにエントリーサイトに表示します。

#### 2. 受賞対象に関する情報の登録

応募者はグッドデザイン賞二次審査通過対象について、「二次審査通過を確定する」ボタンを押下し、受賞発表日の10月7日に公表するための情報及び表彰状・受賞年鑑などに掲載するための情報の確認と登録を、8月19日から26日までにエントリーサイトを通じて行います。

#### 3. 受賞パッケージ料の支払い

主催者又は請求業務代行会社は応募者に、受賞パッケージ料の請求書を8月下旬以降に送付します。

応募者は請求書に記載の期日までに受賞パッケージ料を支払います。

#### 4. グッドデザイン・ベスト100 プレゼンテーション審査への対応

主催者は9月16日に特別賞審査会の一環となる、「グッドデザイン・ベスト100プレゼンテーション審査」を実施します。1.においてグッドデザイン・ベスト100選出の通知を受けた者は主催者の要請に応じ、これに参加します。参加しない場合には、グッドデザイン・ベスト100選出の対象となりません。

プレゼンテーションの様子は録画され、原則としてウェブサイト上で後日公開されます。

### 3-5. 受賞発表後の手続き

#### 1. 受賞発表

主催者は10月7日に、当年度の「グッドデザイン賞」、「グッドデザイン・ベスト100」、「グッドフォーカス賞」、「グッドデザイン金賞」及び「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」を、プレスリリース及びウェブサイトを通じて発表します。応募者による受賞対象に関する情報発信も同日以降とします。

#### 2. Gマークの使用

グッドデザイン賞受賞者は受賞発表日以降、「Gマーク」を使用することができます。なお、「Gマーク」を使用するにあたっては、Gマークの使用申請と使用料の支払いが必要です。詳細は、「Gマーク使用要領」に定めます。

ただし、10月7日から11月6日までは受賞PR期間とし、期間中は申請

不要・使用料無料で「Gマーク」を使用することができます。

### 3. 受賞プロモーションの実施

主催者は10月7日から11月6日までの期間を中心に、オンライン及びその他の方法による受賞プロモーション・イベントを実施します。また、同期間に東京ミッドタウン・デザインハブにおいて、グッドデザイン・ベスト100選出対象を中心とした展示会を実施します。3-4 1.においてグッドデザイン・ベスト100選出の通知を受けた受賞対象は本展示会に参加するものとします。

### 4. 表彰状等の贈呈

主催者は、受賞対象1件につき1枚のグッドデザイン賞表彰状を贈呈します。

「グッドデザイン・ベスト100」選出対象には、選出対象1件につき1点のベスト100トロフィーを贈呈します。

### 5. グッドデザイン大賞の発表及び特別賞表彰状・特別賞トロフィーの贈呈

主催者は、11月1日に「グッドデザイン大賞」を発表し、後日特別賞受賞者に特別賞表彰状・特別賞トロフィーを贈呈します。

### 6. グッドデザイン賞受賞年鑑の刊行

主催者は2023年3月に全てのグッドデザイン賞受賞対象を掲載した受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2022」を刊行し、受賞対象1件につき、受賞年鑑1冊を受賞者へ贈呈します。

## 4) 特別な応募及び審査

### 4-1. 「未発表対象」の応募

本応募要領の「1-1. 応募対象」に記載する応募の条件を満たす対象であれば、二次審査の段階でまだ公表されていない対象(以下「未発表対象」)も応募することができます。未発表対象かつ機密情報の安全性確保を希望する応募者については、下記の「未発表審査」を選択することができます。

未発表審査にあたって応募者は以下の手続きで応募を行います。

#### 1. 未発表審査への登録

未発表審査を希望する応募者は、6月27日から7月4日の間にエントリーサイト上で行う二次審査情報の登録時に「未発表審査を希望する」を選択します。

#### 2. 未発表審査日時の通知

未発表審査の実施にあたり、主催者は二次審査会場内に機密情報の安全性を確保できる場所を用意します。主催者は未発表審査を選択した応募者に対し、搬入・搬出を行う日時及び搬入場所を7月中旬に通知します。二次審査会場内に機密情報の安全性を確保できる場所を用意することが難しいと判断される応募対象については応募者と協議の上、別会場にて審査を行う場合があります。

#### 3. 未発表審査会場への応募対象の搬入・搬出

応募者は、主催者が指定する日時及び場所へ、応募対象の現品またはパネル等の代替物を搬入、搬出します。搬入出代行サービスを利用することはできません。

#### 4. 未発表対象についての守秘義務

主催者、審査委員及び関係者は、応募された未発表対象の審査を通じて知りえた秘密情報について守秘義務を負います。

#### 5. 未発表対象に関わる審査料

未発表対象については機密情報の安全性を確保できる場所を用意し、特別な対応を行うため、二次審査料を以下の通りとします。なお、価格は全て税込みです。

**二次審査会場内で審査を行う場合**

通常の二次審査料に加え、応募対象1件につき104,500円の未発表対象審査料を追加します。

**別会場で審査を行う場合**

通常の二次審査料に加え、応募対象1件につき104,500円の未発表対象審査料及び審査委員と随行事務局員の旅費交通費等の実費を別途追加します。

**6. 未発表対象における注意事項**

未発表対象であっても実際に発表・発売される最終製品と同等の性能を有さず、若しくは外観・機能等の仕様が異なると予想される提示物については要件不十分と判断される場合があります。

**4-2. 審査委員会による推薦応募**

審査委員会は、グッドデザイン賞に応募されていない対象について「審査委員会推薦」として応募を呼びかけることができます。

6月22日から7月15日までに審査委員会の推薦によって応募した対象は、一次審査を通過したのとして二次審査の対象とし、一般の応募対象と同様に審査を行います。審査委員会推薦による「応募確認書」は7月15日、「応募同意書」は9月12日までに提出するものとします。審査委員会推薦によって応募した対象の二次審査料及び受賞パッケージ料は無料とします。(ただし一部オプション等の実費は除く)

**4-3. デザイン賞の相互連携及び事業連携に基づく応募**

タイ王国商務省が主催する「デザインエクセレンスアワード」、インドアデザインカウンシルが主催する「インドアデザインマーク」、シンガポールデザイン商工会議所が主催する「シンガポールグッドデザインマーク」、トルコ経済省・トルコインダストリアルデザイナー協会・トルコ輸出業者協会が主催する「デザインターキー」、インドネシア商業省が主催する「グッドデザインインドネシア」、及び東京都の主催する「東京ビジネスデザインアワード」との制度・事業連携に基づき応募した対象は、一次審査を通過したものとみなし、二次審査の対象とします。

**4-4. ヒアリング審査・現地審査**

審査委員会が、応募者からの説明を直接聞く「ヒアリング審査」の必要があると希望した場合、応募者はこれに対応します。ヒアリング審査の1件あたりの長さや実施の場所・方法は、審査委員会が指定します。また、「3-3. 二次審査における手続き」に基づく二次審査会場での審査とは別に、審査委員が出張して行う現地審査等の希望がある場合も、応募者はこれに対応します。現地審査の実施にあたり、応募者は審査委員および随行事務局員の旅費交通費等の実費を別途支払います。

**5) 応募に関する留意事項**

**5-1. 応募カテゴリーと審査**

審査は応募時に応募者が選択した応募カテゴリーに則して行いますが、審査委員会の判断により予告なくカテゴリーを移動する場合があります。

2022年4月1日

**5-2. 同一対象の複数カテゴリーへの応募について**

同一の対象を複数の応募カテゴリーに応募することはできません。

**5-3. 審査不可能と判断された応募対象の扱い**

応募対象について、審査体制が十分に整わない等の理由により審査委員会が審査不可能と判断する場合があります。この場合、主催者は該当する審査対象を審査より除外し、応募者に速やかに通知するとともに、納付済みの審査料等の費用を返却します。

**5-4. 応募の取り下げ**

応募者は、特定の応募対象について公表の延期等により審査の継続または受賞発表日までの公開が難しくなった場合、応募手続き完了後から10月6日までの期間であれば、応募を取り下げることができます。この場合、

応募者は主催者に、エントリーサイト「お問い合わせ」フォームからの連絡またはEメール等の文書による連絡を行います。主催者の確認・返信をもって応募の取り下げが完了となります。

なお、取り下げに伴う審査料等費用の扱いについては、次のように定めます。

以下の期日以降に応募を取り下げた場合、応募者は所定の費用を支払います。

- 一次審査料 6月3日以降に取り下げた場合
- 二次審査料 7月5日以降に取り下げた場合
- 受賞パッケージ料 8月27日以降に取り下げた場合

**5-5. 情報の取扱いについて**

**1. 権利の帰属**

応募者から提供された応募対象に関する情報の著作権は応募者に帰属します。ただし、主催者はグッドデザイン賞の審査及び受賞内容の告知・広報等を含めた活動に限り、その情報を使用できるものとし、応募者はこれに同意するものとします。また、その目的及び態様に照らして必要と認められる場合に限り、情報の改変を行うことができるものとし、応募者はこれに同意するものとします。

**2. 情報の公開**

主催者は、応募者から提供された応募対象についての情報のうち、グッドデザイン賞エントリーサイトの登録フォームに「公開」と記載されている項目について以下の2媒体により情報公開を行います。公開項目は、二次審査結果通知後に確認・登録することができます。それ以外の項目に登録された情報については非公開とし、審査においてのみ使用するものとします。

**グッドデザイン賞ウェブサイト 「受賞対象一覧」**

- 対象 2022年度グッドデザイン賞受賞対象
- 時期 2022年10月7日以降

**グッドデザイン賞受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2022」**

- 対象 2022年度グッドデザイン賞受賞対象
- 時期 2023年3月

なお、公開情報については、2022年10月7日以降、適宜グッドデザイン賞の広報活動等に使用することがあります。

**3. 応募情報の保管期限**

エントリーサイトに登録される応募対象に関する情報は、応募アカウント担当者情報及び応募者情報を除き2023年2月末をもって削除します。この情報は別途保管し、グッドデザイン賞の審査及び受賞内容の告知・広報等の目的で使用することがあります。

※2022年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によっては変更になる場合があります。

# 審査要領

この要領は、2022年度グッドデザイン賞の審査にあたり必要とされる事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

- 1) 審査委員会の設置
- 2) 審査委員会の役割
- 3) 審査委員の委嘱
- 4) 審査委員の義務と権利
- 5) グッドデザイン賞の審査

## 1) 審査委員会の設置

主催者は、グッドデザイン賞の理念等に基づいて厳正な審査を行い、グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、及びグッドデザイン特別賞を決定するため、グッドデザイン賞審査委員会（以下「審査委員会」）を設置します。

審査委員会は、審査委員長、審査副委員長、審査委員をもって構成します。審査委員長は審査委員会を統括し、審査副委員長は審査委員長を補佐するとともに、審査委員長に事故がある場合はこれを代行します。

## 2) 審査委員会の役割

### グッドデザイン賞等の確定

審査委員会は、グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、及びグッドデザイン特別賞について、グッドデザイン賞の理念と審査委員長の示す審査方針を尊重し審査を行い、それらの賞に相応しい受賞対象を確定します。グッドデザイン賞等の確定は、審査委員の合議により行います。合議による確定が難しい場合は、審査委員長、あるいは審査副委員長がこれを確定します。ただし、審査委員会は特定の審査対象について、審査体制が整わない等の理由により、その審査対象を審査不可能として除外することができます。

### 受賞対象の情報開示

審査委員会は全ての受賞対象について、その優れている理由を明らかにします。主催者はこれらの情報を応募者に通知するとともに、グッドデザイン賞のウェブサイトなどを通じて公開します。

## 3) 審査委員の委嘱

主催者は公益財団法人日本デザイン振興会内規「グッドデザイン賞審査委員会設置規程」に基づき、グッドデザイン賞の趣旨を理解し豊富なデザイン経験等を有する有識者に、グッドデザイン賞審査委員を委嘱します。審査委員長、審査副委員長、審査委員の委嘱期間は2022年4月1日から2023年3月31日までとします。

## 4) 審査委員の義務と権利

審査委員自身が関与した対象の審査

審査委員長、審査副委員長及び審査委員は、審査委員自身がデザインまたはコンサルティングした審査対象の審査に際し、関連情報の提供を含め、当該対象の審査に関することはできません。

### 審査情報に関する守秘義務

審査委員長、審査副委員長及び審査委員は、審査開始以前に主催者に守秘義務に関する誓約書を提出します。審査対象に関わる機密情報、審査経緯等審査を通じて知り得た秘密情報を第三者に漏らすことは、一切禁じられています。

### 審査委員会による「推薦応募」

審査委員長、審査副委員長及び審査委員はグッドデザイン賞へ応募されていない対象について、その見識をもって応募を推薦することができます。ただし、自身がデザインまたはコンサルティングした対象を推薦することはできません。審査委員会による「推薦応募」とするかどうかは、審査委員長、審査副委員長、及び当該の審査ユニットの審査委員が内容を確認した上で決定します。

## 5) グッドデザイン賞の審査

### 審査対象の確定と審査ユニットの編成

「グッドデザイン賞応募要領」に基づき応募され、主催者が受理したものを審査対象とします。審査委員会は主催者による審査対象確定後、審査を円滑かつ的確に行うため、応募カテゴリーに則した複数の小委員会である「審査ユニット」を編成します。各審査ユニットには、「ユニットリーダー」を置きます。

### 審査委員全体会議の実施

審査委員会は審査対象確定後、審査委員全体会議を実施し、審査委員長及び審査副委員長主導のもと、審査理念及び当年度の審査方針を確認します。

### 審査の視点

グッドデザイン賞の審査は、以下の4つの視点に基づいて行われます。

#### ・人間的視点

- ・使いやすさ・分かりやすさ・親切さなど、ユーザーに対してしかるべき配慮が行われているか
- ・安全・安心・環境・身体的弱者など、信頼性を確保するための様々な配慮が行われているか
- ・ユーザーから共感を得るデザインであるか
- ・魅力を有し、ユーザーの創造性を誘発するデザインであるか

#### ・産業的視点

- ・新技術・新素材などを利用または創意工夫によりたくみに課題を解決しているか
- ・的確な技術・方法・品質で合理的に設計・計画されているか
- ・新産業、新ビジネスの創出に貢献しているか

#### ・社会的視点

- ・新しい作法、ライフスタイル、コミュニケーションなど、新たな文化の創出に貢献しているか
- ・持続可能な社会の実現に対して貢献しているか
- ・新たな手法、概念、様式など、社会に対して新たな価値を提案しているか

#### ・時間的視点

- ・過去の文脈や蓄積を活かし、新たな価値を提案しているか
- ・中・長期的な観点から持続可能性の高い提案が行われているか
- ・時代に即した改善を継続しているか

### 一次審査の実施

一次審査は、審査ユニットごとに実施します。各審査ユニットは、応募者によって審査用情報として登録された内容に基づき審査を行います。

一次審査の期間は6月3日から6月26日までとします。

### 二次審査の実施

二次審査は、「一次審査を通過した審査対象」、「審査委員会推薦により応募されたもの」及び「デザイン賞の相互連携及び事業連携によって応募されたもの」を審査対象として実施します。主催者は所定の場所に審査会場を設置します。各審査ユニットは、原則として審査対象の現品による審査を行います。

また、必要に応じ、審査委員が応募者の説明を直接聞くヒアリング審査、審査委員が出張して行う現地審査等の実施や、審査対象の品質等に関する追加資料の提出を求めることができます。

二次審査の期間は、7月5日から8月18日までとします。

### グッドデザイン賞の確定

審査ユニットリーダーは、審査を担当した審査対象についての審査結果を審査委員長及び審査副委員長に報告し同意を得て、グッドデザイン賞受賞対象を確定します。

### グッドデザイン・ベスト100の選出

グッドデザイン賞確定後、審査委員長、審査副委員長、審査ユニットリー

ダー及び審査委員長が指名する審査委員により、グッドデザイン・ベスト100を決定するための小委員会（以下「グッドデザイン・ベスト100選出会」）を設置し、当年度すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中から、これからの生活・産業・社会を導き、明日を拓き得るデザイン100点を「グッドデザイン・ベスト100」として選出します。

#### **特別賞審査会**

グッドデザイン・ベスト100の選出後、審査委員長、審査副委員長、審査ユニットリーダー及び審査委員長が指名する審査委員により「特別賞審査会」を設置し、グッドデザイン・ベスト100の中からグッドフォーカス賞、グッドデザイン金賞について、各賞の趣旨に相応しい対象を選出します。さらに、グッドデザイン金賞の中から「グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）」を決定します。

#### **グッドデザイン大賞の選出**

主催者は「グッドデザイン大賞選出規則」を別途定め、11月1日に、「グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）」を対象として審査委員及びグッドデザイン賞受賞者等による投票を実施します。その結果、最多の票数を得た1点が「グッドデザイン大賞」として選出されます。

2022年4月1日

※2022年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によっては変更になる場合があります。

# Gマーク使用要領

グッドデザイン賞の受賞者は、公益財団法人日本デザイン振興会が定める「Gマーク使用に関する規則」「Gマーク使用ガイドライン」及び「Gマーク使用料金表」に従って「Gマーク」を使用します。本要領は、それらの中から2022年度グッドデザイン賞受賞者が「Gマーク」を使用する際の要点を取りまとめ、示すものです。

## 1) Gマークとは (Gマークの定義)

「Gマーク」とは、グッドデザイン賞事業の主催者である公益財団法人日本デザイン振興会(以下「振興会」)が管理する知的財産権です。このマークは、1956年に亀倉雄策氏によってデザインされ、グッドデザイン賞制度が開始された1957年から、その受賞対象であることを示す証として使われています。



Gマークのシンボルマーク

## 2) Gマークの使用

Gマークの使用に関しては、振興会が定める「Gマーク使用に関する規則」「Gマーク使用ガイドライン」及び「Gマーク使用料金表」に従ってください。規則等の概要は以下のとおりです。

2-1 受賞者は、受賞対象ごとに、グッドデザイン賞エントリーサイトの専用ページを通じて、「Gマーク」の使用申請を行います。振興会は、受賞者からの申請を受けて使用料の請求書を発行・送付し、入金を確認後「Gマーク使用許諾書」を送付します。

2-2 一件の受賞対象について受賞者が複数である場合は、いずれかの受賞者が申し込みを行い、振興会からの許諾を受ければ、全ての受賞者が「Gマーク」を使用できます。また、受賞者の指示があれば、「Gマーク使用に関する規則」等を遵守することを条件に広告代理店等も、受賞者の代理者として「Gマーク」使用を申込みることができます。この場合は、Gマーク使用申請と同時に受賞者の代理者であることを示す「Gマーク使用申請委任状」を提出してください。

2-3 「Gマーク使用に関する規則2-2」による日本国外における「Gマーク」使用については、該当する市場(国・地域)の法令等の遵守が求められますので、「Gマーク」使用申請の際に、使用する国・地域を明記の上、振興会にご相談ください。国・地域により「Gマーク使用ガイドライン」の使用可能なロゴタイプ・シンボルマークの組み合わせ等が変更になる場合があります。原則としてシンボルマーク単独の使用はできません。

2-4 「Gマーク」の使用期間は、通常は振興会が発行する許諾書に記載された使用開始日から1年間とします。期間を超えて継続使用する場合は、再び使用申請を行います。

2-5 使用できる「Gマーク」の詳細については、グッドデザイン賞ウェブサイトの専用ページに記載します。また具体的な「Gマーク」の使用方法については、「Gマーク使用ガイドライン」に示した態様に限ります。

## 3) Gマークの使用料

「Gマーク」の使用許諾日から1年間の使用料は次のとおりです。

販売価格	総事業費 (販売価格が無い場合)	使用料 (税込)
50万円未満	5億円未満	220,000円
50万円以上500万円未満	5億円以上50億円未満	550,000円
500万円以上	50億円以上	1,100,000円

3-1 原則として審査情報として記載された販売価格(オープンプライスの場合は実勢価格)をもって上記区分を適用します。なお、販売価格に幅がある場合は、その平均値を適用します。ただし、商品価格が存在しないものについては総事業費を適用します。

3-2 日本国外の受賞者についても、上記の規定に基づき使用料を算出します。

## 4) 使用料の減額措置

振興会は、「Gマーク使用に関する規則5-2」により、下記のような減額措置を設けます。

4-1 受賞者が国、地方自治体などの行政機関、国または地方自治体から認可や認定を受けた学校法人、医療法人、宗教法人、公益財団・公益社団法人、NPO法人等の公共機関・団体である場合は、Gマーク使用料を無料とします。ただし、行政機関と民間事業者との共同出資により設立された法人(第三セクター)は除きます。日本国外の受賞者については、この規定に準拠して振興会が判断します。

4-2 受賞者が個人または中小企業である場合は、Gマーク使用料を50%割引とします。なお中小企業の定義については、日本国「中小企業基本法」に定められる定義に従います。ただし、大企業の子会社等「大企業の実質的な支配下にある中小企業」については、割引措置を受けることはできません。

日本国外の受賞者が中小企業に該当するかについては、この規定に準じて振興会が判断します。

4-3 受賞年度内に4年分の使用を一括して申し込み場合は、Gマーク使用料を25%割引とします。また、受賞後5年目以降の受賞対象のGマーク使用料は50%割引とします。受賞後10年目以降の受賞対象、およびロングライフデザイン賞受賞対象のGマーク使用料は無料とします。

## 5) 防災・復興を支援する減免措置

自然災害への防備または自然災害による被害からの復興を支援するため、2021年度以降のグッドデザイン賞の受賞対象のうち、グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]に選出された受賞対象については、2023年3月31日までに申し込まれた1年分のGマーク使用料を無料とします。

## 6) 受賞PR期間におけるGマークの無料使用

全ての受賞者は、その年度の受賞対象について受賞発表の日から主催者の定める期間内(以下「受賞PR期間」)に限りGマークを無料で使用することができます。2022年度の受賞PR期間は、2022年10月7日から11月6日までとします。また振興会は、上記期間以外にも、無料使用期間等を設定することがあります。

## 7) 受賞対象の改善改良にともなうGマーク使用

受賞者は、性能改善等の仕様変更を行った受賞対象に関してGマークの使用を希望する場合は、振興会に規定の「Gマーク仕様変更届」を提出します。振興会は、「Gマーク使用に関する規則3-4」により、その内容を判断の上、Gマーク使用の可否を連絡します。

## 8) 使用状況の報告及び使用事例の紹介

振興会はGマークを使用している受賞者に対し、その使用状況についての報告を求めることがあります。また、その使用状況をグッドデザイン賞の広報活動等で紹介することがあります。

2022年4月1日

※2022年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によっては変更になる場合があります。

## グッドデザイン賞についてのお問い合わせ先

公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局  
〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F  
E-mail: [info@help.g-mark.org](mailto:info@help.g-mark.org)  
[www.g-mark.org](http://www.g-mark.org)

2022年11月7日（第2版）

